

## Part 1 基本情報

### 1. インドネシア プロフィール

(1) 正式名称	(和文) インドネシア共和国 (英文) Republic of Indonesia
(2) 政体	共和制
(3) 首都	ジャカルタ
(4) 面積	189万平方km
(5) 人口	2億1700万人 (2007年2月)
(6) 民族	ジャワ族、スンダ族など大別して27種族
(7) 言語	インドネシア語
(8) 宗教	イスラム教(90%)、プロテスタント、カトリックほか
(9) 略史	7世紀、スマトラを中心に仏教王国が成立。16世紀にイスラム教が発展。1512年ポルトガルがモルッカ諸島のアンボンを占領。1602年オランダがジャワに東インド会社を設立し、植民地経営に乗り出す。1945年独立を宣言。オランダの承認を得て1950年共和国成立。
(10) 在留日本人	1万1221人 (2005年10月)
(11) 気候	全体に高温多湿の熱帯性気候で、年間を通じて季節の変化はなく、半年ごとに雨季(12~3月)と乾季(6~9月)を繰り返す。年間平均気温は内陸部において摂25度程度。

【参考】

「国別協力情報ファイル」 国際協力機構  
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」 外務省  
『最新世界各国要覧 10訂版2000』 東京書籍

### 2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要 (ジャカルタ)

住所 : Plaza BII Tower II 27th Floor, Jl. M.H. Thamrin No. 51 Jakarta 10350, INDONESIA

連絡先 : 国番号 : 62

地域番号 : 21

電話 : +62-21-3907533

FAX : +62-21-3907536

URL : <http://www.jica.go.jp/indonesia/index.html>

E-mail : [jicain@jica.go.jp](mailto:jicain@jica.go.jp)

執務時間 : 8:30~16:30 (昼休み12:30~13:30)

休日 :

1月1日	New Year's Day
1月2日~3日	Special Holiday for New Year's *
1月10日	Hijriyah 1429 New Year's
2月7日	Chinese New Year's
3月7日	Nyepi
3月20日	Maulid Nabi Muhammad Saw

3月21日	God's Friday
5月1日	The Ascension Day
5月20日	Waisak
7月30日	Isra' Mi' Raj Nabi Muhammad Saw
8月18日	Independence Day (Substitute Holiday)
10月1～2日	Special Holiday for Idul Fitri
12月8日	Idul Adha 1429 Lebaran Haji
12月25日	X'mas
12月29日	Hijriyah 1430 New Year's
12月30日～31日 (2008年)	Special Holiday for Year End * * は日本の祝日

事務所までの交通：

**【空港から】**

空港からはGolden Bird(またはSilver Bird)のタクシーカウンターからタクシーを利用すること。「Jl. MH. Thamrin Plaza BII」までと行き先を伝える。所要時間は40分程度である。

**【空港以外から】**

タクシーの利用を勧める。タクシーは必ずホテルなどで客待ちをしているSilver Bird、またはBlue Birdの利用を勧める。電話で呼び出すこともできる。市内には流しのタクシーもあるが、安全の問題からできる限り利用しないこと。Silver Birdは黒い車体、Blue Birdは青い車体である。

**【無線タクシー】**

\* 下記は同じ系列のタクシー会社

(Blue Birdグループ URL : <http://www.bluebirdgroup.com/>)である。

・Golden Bird 電話 : 021-5506430/0226(空港カウンター)

021-7944444(市内事務所)

・Silver Bird 電話 : 021-7981234

・Blue Bird 電話 : 021-7941234

## 事務所周辺地図



※「3 in 1」時間帯(交通規制)の  
JICA事務所への経路。  
7:00～10:00、16:00～19:00  
(土日曜除く)。

- (2) 日本との時差、  
サマータイム
- 日本との時差 : -2 時間  
サマータイム : 実施していない
- (3) 祝日、  
官公庁の休日
- 祝日 : 「(1)事務所の休日」を参照のこと。  
官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日
- (4) ビジネスアワー
- 官庁 8:00～16:00 (役所は金曜日のみ 15:00 終業、土日休み)  
銀行 8:30～15:30 (土日休み)  
商店 10:00～21:00 (月～土曜日)
- (5) 言語
- 業務 : 課、役所部署にもよるが、管理職はだいたい英語を話す。  
ホテル、買い物、食事 : 外国人向けのホテル、店ではだいたい英語が通用する。ふつうの市場、一般商店などではインドネシア語が使われることもある。
- (6) 通貨
- 通貨 : ルピア(Rp)  
為替レート : 1米ドル=9,350 ルピア (2007年9月6日現在)
- (7) 関係機関
- 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館  
住所 : Jl. M.H. Thamrin No.24, Jakarta 10305, Indonesia  
電話 : 021-31924308 FAX : 021-31925460  
URL : <http://www.id.emb-japan.gov.jp/top-jp.html>
  - ・日本貿易振興機構(JETRO)  
住所 : Summitmas, 16th Floor Jl. Jend. Sudirman Kav. 61-62 Jakarta

電話 :021-5200264 FAX :021-5200261

URL :<http://www.jetro.go.jp/indonesia/>

・国際協力銀行(JBIC)

住所 : Summitmas, II 7th Floor Jl. Jenda sudirman Kav. 61-62 Jakarta

電話 :021-5220693 FAX :021-5200975

URL :<http://www.jbic.or.id/>

・ジャカルタ日本人会(The Jakarta Japan Club Foundation)

住所 : Menara Cakrawala 4th Floor Jl. M.H. Thamrin Jakarta

電話 :021-3150418 FAX :021-31925902

URL :<http://www.jjc.or.id/>

(8) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

<http://www.embjapan.or.id> (在インドネシア日本大使館 海外危険情報などの提供)

<http://commerce.cbn.net.id/jjs/> (ジャカルタ日本人学校)

<http://www.yorozu.indonesia.org/index.shtml>

(インドネシア在住日本人の生活情報掲示板)

<http://www.jppeople.org/> (インドネシア在住日本人の生活情報掲示板)

<http://www.jakartashimbun.com/> (じゃかるた新聞)

## Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限りマカッサルの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



Yellow Page

## 1-1 ホテル

日本人がよく利用するホテルは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Hotel Imperial Aryaduta
- ・Hotel Sahid Jaya Makassar
- ・Hotel Clarion
- ・Hotel Santika
- ・Hotel Banua



Hotel Imperial Aryaduta

上記ホテルはレストラン、バーなどの飲食施設、ビジネスセンター、会議室、ジム、プール等の設備のあるホテルである。このほかにも、上記のような施設をすべて備えているわけではないが、部屋自体は清潔で新しいホテルを探すことは可能であり、より安価である。

いずれも長期滞在時や赴任当初の利用が可能であるが、長期滞向けのアパートメント形式の部屋を備えているわけではない。1か月以上の滞在であれば、ホテルと交渉すればより安くなる可能性がある。

## 1-2 住宅事情

外国人が住宅を探すとすれば、現在のところマンションやアパートメント・ホテルはないため、一戸建ての住宅を賃貸することが多い。家自体は大きい、設備等は日本人の好みとはやや異なっており、特に、給湯設備に関しては、温水の設備を備えていないことも多い。好みの仕様に整えるためには、入居前後に手間と時間がかかることを覚悟する必要がある。ただし、過去に外国人、特に日本人によって賃借され、それほど時間が経っていない住居であれば、設備面では比較的満足のいく住居を探すことも可能である。治安などを考慮した場合、マカッサル市北部のPanakukkang Mas地区には、塀で周囲を囲い、入り口に警備員を配置した区画(Komplex)が存在するので、選択肢の1つと考えられる。

## 1-3 住宅の探し方

a) ブローカーの紹介、b) 前任者の家を引き継ぐ、c) 知人からの家主の紹介等が考えられる。また、新聞で貸家の広告を探すという方法もある。

マカッサルでは、これまで日本食レストラ



日本人の住宅例

ン「New Shogun」のオーナーに家の紹介および手続きの仲介を行ってもらった場合が多かったが、最近同オーナー以外にも適当な物件を紹介してくれる仲介会社が増えた。

#### 1-4 住宅選定上の留意点

まず電話があることが第一条件である。家主の口約束だけではいつ設置されるかわからないので、すでに電話が設置してある家が良い。

水は井戸水と水道の共用が多いが、井戸はさほど深くなく、乾季には枯れるケースもあるので、水の出具合や井戸の深さなども調べておくほうがよい。

雨漏りは、住居の新旧にかかわらずあるので、雨漏りの跡などをよく確かめる必要がある。一般に、勾配の大きな屋根で軒の深い建物は問題ないが、平らな屋根や軒の浅い建物は要注意である。しかしながら、実際には雨季にならなければ雨漏りの有無を知ることは難しく、雨漏りを完全に修理することも難しいというのが実情であろう。

家族の生活域と使用人の居住域は鍵付き扉などで隔てられていること。また、門、塀、道路に近いガラス戸などには錠、有刺鉄線、鉄格子などがあることが望ましい。

設備、備品については、必要なもの（冷蔵庫、エアコン、バスタブ、バーグラブ・バー網戸、など）はすべて契約前に要請し、その達成を見てから家賃の支払いをするのが望ましい。

モスクが至るところにあり、早朝から拡声機を通してお祈りが聞こえてくるので、モスクの近くは避けたほうがよい。また、雨季に入ると市内各所で洪水が起こるので、立地条件として、道路より家の位置が高いなどの条件も住宅選びの際に考慮する必要がある。

#### 1-5 住宅の契約

希望条件に合った、納得できる住宅が見つかったら、仲介会社の立ち会いのもと、家主と具体的な交渉に入る。契約年数、備え付けの家具調度品、電化製品、カーテン、カーペットや、建物の補強、塗り替え、修理箇所などの相互確認および家賃の支払い方法などを取り決める。

住宅の賃貸の場合、一般には1年契約で、1年分の家賃を初めに支払う必要がある。前渡し金と残金に分ける場合、前渡し金として全額の10%程度を、残金を契約開始日より1カ月後ぐらいには支払う。マカッサルでは、2回に分ける方法はあまり一般的ではないようなので、詳細は家主、あるいは仲介者との交渉による。たとえば、家屋を改装する必要があるとき、最初に改装に必要な費用を前払いするよう要求されるケースがある。

信頼できる紹介者を介している場合を除き、口約束はトラブルのもとである。トラブルが発生した場合、その判断は契約書の記載事項に委ねられるので、細かい点についても明記しておく必要がある。たとえば、米ドルで支払う場合、銀行手

数料が1%かかるが、それをどちらが負担するか、前渡し金をどの程度支払うか、家具設備費はどちらが持つか、補修の条件、家屋・家具保険の加入などである。

貸借期間終了後、建物や家財を契約時の状態に戻すという条件は、削除するか適用を大幅に緩和させるのが賢明である。

契約書には適宜、上記したような細かな条件を加える必要がある。契約者が、実際にその家の持ち主であるのか、また、物件が担保になっていないか等を確認したほうがよいが、外国人にはかなり難しいと思われる。最善の方法は、信頼できる仲介者を選ぶことであろう。

## 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、ガス、電話などを使用開始するための手続きは、家主あるいは仲介者にやってもらう。

毎月の公共料金(電気、水道)は、近隣の定められた事務所(外見はふつうの家であることもあり、近所の人に聞く)に支払いに行く。使用料の通知はないため、前月に支払った金額を参考に、事務所で住所を伝え、金額を示される。支払いの際に受納した領収書は必ず保管しておくこと。故意か不注意であるか不明であるが、時折、二重に請求されることがある。固定電話は、前月の使用料をTELKOM(インドネシアの国営電話会社)に尋ね、TELKOM支店、郵便局、銀行で支払うことが可能である。事前に多めに支払っておけば、デポジットとすることも可能である。家主が毎月かかる公共料金を立て替え払いし、その領収書をもって請求してもらう形にすれば面倒がない。契約前に家主と交渉してみるとよい。

ガスはプロパンガスで、巡回しているトラックから買うか、近所の雑貨店で販売している。最初にガスが既に入ったガスボンベを購入(32万5千ルピア/12kgタイプ)し、次回よりは、ガスのみの値段(3万5千ルピア)で、空のガスボンベと交換で購入することが可能である。ガスボンベは常に1本余分に備えておくことよい。

ゴミ収集は各家庭の近くに大型のゴミ箱が置かれ、定期的に収集される。ゴミ収集料は地域によって異なっているため、各地域の責任者に確認を行う必要がある。地区ごとに警備やゴミ収集などを行うため、月ごとの*luran*(寄付)を支払う場合が多い。額は地区によって異なっているため、家政婦等に確認してもらうとよい。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

マカッサルの電圧は220Vである。市内の電気店で用途に合わせた容量の変圧器(よく売られているのは電圧安定器の役割も兼ねたもの)の購入が可能であり、電圧も必要に応じて設定できる(容量の小さいものは110V出力のものが多く、日本からの電気製品を使用するのに通常は問題ない)。ただし、小型の変圧器(50W程度)を購入することは難しいため、日本から何個か持参すると便利である。

## (2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントの形状は日本と異なっているが、市内で日本のプラグから現地仕様に変換するアダプターを購入できる。延長ケーブルも日本のコンセントが直接差し込めるものが購入可能である。また、現地で多く見られる変圧器は、日本仕様のプラグが直接差し込めるコンセントを備えている場合が多い。



コンセント

プラグ

電話のモジュージャックの形状は日本と同じである。

## (3) 家電製品

電化製品は、外国メーカーの製品も多く売られており、ほとんどのものが調達可能である。冷蔵庫は住宅に備え付けられていることが多い。炊飯器、トースター、ジューサー・ミキサー、コーヒーメーカー、ホットプレート、電気コンロ、電子レンジ、洗濯機、オーディオ、TV、扇風機なども手に入る。なお、映画等のソフトは以前は Video CD が主流だったが、近年 DVD が急速に普及したので、再生機はこちらで購入することを勧める。しかし、ビデオを観ることを考えている場合、当地でビデオデッキを購入するのは困難であるため、日本から持参する必要がある。また、通常テレビは世界中の規格に対応したマルチ方式なので、日本のビデオデッキでも問題なく接続し、視聴できるが、日本のビデオデッキは通常 NTSC 規格に対応したものであるため録画はできない(マルチ規格対応ビデオであれば録画も可能)

## 1-8 家具保険

該当情報なし。

## 1-9 その他

該当情報なし。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

マカッサルの気候は乾季(5~10月頃)と雨季(11~4月頃)に大別される。年間の平均気温は摂氏 25~30 度、一年を通してほとんど夏服で過ごせる。乾季は晴天が続いて降雨はほとんどなく、湿気は少ないがほこりっぽくなる。雨季に入ると気温も下がるので、長袖が欲しくなる。またこの時期には涼しくなるので、薄手のタオルケットを用意しておきたい。ホテルやレストラン、ショッピング・モールでは冷房が効きすぎる場合が多いので、長袖や薄手の羽織るものがあると便利である。

衣料は豊富であり、セーターやブルゾン等の防寒具も販売されているが、日本

人の好みとはやや異なっていると思われる。また、女性の場合、インドネシア女性の小柄な体型に合わせた細身の服が多いため、サイズの合う既製服が見つからない場合が多い。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

着任当初は何かと忙しいため、アナカン(別送荷物)が到着するまでの1カ月間に必要な分の着衣は赴任時に持ってくる必要がある。

下着などは日本から持参したほうがよい。「ワコール」など、日本でも知られた女性用下着メーカーの製品は購入可能であるが、日本ほど種類が豊富ではなく質も異なっている。男性用の綿靴下も購入は難しいので持参したほうがよい。

靴類は児童用、運動靴、サンダルなどは現地で揃う。長靴も当地で購入でき、雨季に地方の農村やパサール(市場)などに出かける時にあれば便利であろう。当座の履き物(サンダルなど)や革靴は持参したほうがよいであろう。

パジャマなども売られているが、素材、デザインともに限られており、日本人の好みに合うようなものは少ないので、持参することを勧める。

日本で布おむつを使っていた乳幼児の場合、日本と同様の布おむつ素材の入手は難しいため、布か布おむつを持参したほうがよい。また、日本のメーカー製紙おむつも販売されているが、日本で販売されている製品とはまったく別なものであると考えたほうがよい。中国製などもあり、いろいろ試してみて比較的満足のいくもので我慢するしかないであろう。

シーツ、毛布、バスタオルなどは当地で手に入る。

#### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

仕立て代が非常に安いので、衣類のオーダーメイドも可能である。ただし、背広の品質に関して日本と同じものを期待するのであれば、日本からの持参を勧める。女性の場合、バティック(Batik: インドネシアのろうけつ染め)を使った洋服をオーダーする人は多いようである。男性の場合、背広の上下を着なければならぬ機会は意外と少ないので、日本から1、2着持参する程度でよい。通常はスラックスにワイシャツ、必要に応じてネクタイ程度で十分であろう。スラックス、ワイシャツは現地で購入可能な既製品で十分間に合う。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

正装が必要なパーティーは少なく、ワイシャツにネクタイで十分な場合が多いが、スーツを身に着ける方が無難である。また、男性は長袖のバティックがあれば失礼にならない。女性はワンピースなどでよいが、バティックのワンピースをこちらで仕立てる人も多いようである。男性、女性ともに長袖が正装である。

## (2) 式典

スーツまたはバティック、業務関係ならサファリスーツでも問題ない。

## (3) 冠婚葬祭

式典と同様である。

## (4) その他の留意点

該当情報なし。

**2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管**

## (1) 洗濯

市内であれば、住宅の近隣にクリーニング店を探ることができる。ショッピングセンター内にも、洗濯物の受付を行い、洗濯後に自宅まで配送してくれる店舗もある(運転免許書等の住所を証明するものが必要)。背広やネクタイなどをクリーニングに出しても特に問題はないが、あまりに高価な背広等は避けた方がよい。

## (2) 仕立て、修繕

仕立て店は多く値段も安いですが、技術のある店はそれなりに高いので、目的に応じて店を選ぶとよい。先に赴任している人から情報を得たり、何軒か試すとよい。

仕立ての参考となるスタイルブックはあるが、数は少なく、流行も若干遅れている。好みの洋服が載っているスタイルブックがあれば日本から持参するとよい。

修繕は、簡単なものなら当日か次の日に仕上げてくれる。

## (3) 保管

乾季と雨季では気候が非常に異なっていることに留意する必要がある。乾季は湿気をほとんど心配する必要はないが、雨季にはかなりしっかり密閉している場所でも湿気を防ぐのは難しい。乾燥した晴天の日にはタンスを開放して風を通したり、衣類の陰干しをするとよい。一時帰国など長期間留守にする際は、カビに要注意である。防虫剤、吸湿剤はスーパーなどで売られている。

**2-4 美容院、理髪店**

美容院は多い。現地に長くいる人に評判のよい店を教えてください。

理髪店も多い。理髪料は、こぎれいな店で 3 万ルピア程度である。肌の手入れや、マッサージなどのサービスもあわせて行っているお店が多い。

**3. チップ****3-1 チップ事情**

## (1) 習慣の有無

チップの習慣はあまりない。

## (2) 各種サービスに対するチップ

レストラン等で、お釣りの端数を残すことはよく行われている。空港で荷物を運ぶのを手伝ってくれるポーターへはカバン 1 個あたり 5 千ルピア程度を渡すが、後でもめることのないよう、事前に値段交渉をするとよい。また、ほとんどのレス

トランには、飲食料のほかに税金、サービス料と一緒に請求されるので、特にチップを払う必要はない。

## 4. 食生活



### 4-1 外食

#### (1) 一般事情

マカッサル市は人口 100 万人とインドネシアの中でも比較的大きな都市であるが、ジャワ島などと比べると、飲食店はそれほど発達していない印象を受ける。特に、外国料理に関しては、あまり大きな期待はできない。また、地元の料理に関しても、市内でよく見かける料理は、どこもあまりバラエティーには富んでいない。

市内で最もよく見かける飲食店(Rumah Makan)は、地元料理である Coto Makassar(牛あるいは馬の内臓を煮込んだスープで色は黒。)や Sop Saudara(牛や羊の肉を煮込んだスープ)などを賄うものであり、店によっては Sop Konro(牛のあばらを骨ごと煮込んだスープ)も見かけることがある。ジャワ島などで見られる、Mie Bakso(魚肉ボールの入った麺)、焼きめし(Nasi Goreng)、焼きそば(Mie Goreng)なども市内のいたるところに料理店がある。このような料理であれば、一皿 2 万ルピアを超えることはないであろう。また、夜になると屋台(Kaki Lima)による移動型の店舗で、揚げバナナ(Pisang Goreng)、中東風お好み焼き(Martabak)、焼き菓子(Terang Bulan)などの販売が行われている。

なお、ホテルなどが集まっている海岸通り(Jl. Penghibur)から Mall GTC Makassar に至る途中の道沿いに屋台が集まっており、シーフードや上記のような食べ物を提供している。コーヒー、紅茶、ジンジャーティーなどを飲みながら、地元の人々とともに食事をとることもできる。土曜の夜などは地元の人々で非常ににぎわう。

そのほか、ファーストフード店として、ケンタッキー・フライドチキンを市内でよく見かける他、マクドナルド(ショッピングセンターMal Ratu Indah 内)、ダンキンドーナツ、ピザ・ハット(ショッピングセンターMal Panakuk kang Mas 内等)などもある。喫茶店としては Excelso が Mal Ratu Indah と Mal Panakuk kang Mas にある。

#### (2) 飲食店

多人数の場合は予約したほうがよい。日本人向きと思われるレストランは以下のとおりである(詳細は Part3 イエローページを参照)。



#### <日本料理>

- ・New Shogun
- ・Shima-Ya
- ・Bugis Shokudo
- ・Udonya-san

#### <シーフード料理>

- ・Dinar
- ・Ratu Gurih



New Shogun

- ・Bahari
- ・Rumah Makan Nelayan
- ・Istana Laut

#### <韓国料理>

- ・Ko Ryu Jong

#### <タイ料理>

- ・Makassar Suki

#### <中国料理>

- ・Surya
- ・Smile Plaza
- ・Kios Semarang

#### <バー、スナック>

日本人の感覚でバーといえるのは、Hotel Imperial Aryaduta、Hotel Clarion、Hotel Santika、Hotel Horizon、そして Hotel Sahid Jaya Makassar 内にあるバーぐらいであろう。その他、市内には KARAOKE や DISCO と呼ばれる店が幾つかあり、ビールなどを飲むことができる。KARAOKE は日本の曲も豊富なお店がカラオケBoxを含めて4軒ある。また、Hotel Pantai Gapura にはビール等のアルコールを飲みながら夕日を楽しめる屋外レストランがあり、週末の日没時刻前になると在留邦人や白人観光客などで賑わう。

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

食料品は、パサール、スーパーマーケットで入手する。パサールは一般に、種類は限られているが、現地で生産されているものであれば、安価で鮮度のよい食料品が入手できる。衛生状態はよいとはいえないが、調理して食べるものであれば問題はない。慣れないうちは目的の品を見つけるのに苦労するため、現地の人(家政婦／夫など)に同行してもらおうとよい。計り売りがふつうである。

スーパーも街に複数あり、パサールでの買い物に比べれば便利である。ショーケースがあり、肉類なども部位を分けて販売している。ただし、管理に関しては必ずしも信頼が置けないので、製造年月日などをよく確かめて購入する必要がある。

### (2) 主な食品の出回り状況

マカッサルで入手できる主な食品は次のとおりである。

#### <穀類>

米、もち米、パン粉(薄力、中力、強力粉)、パスタ類(スパゲティ、マカロニ)、米粉、春巻・ぎょうざの皮、さご椰子の粉など。コンスターチはよく販売されているが、片栗粉は見ない。

#### <イモ類>

ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、キャッサバなど。

### <食料油>

ヤシ油、オリーブ油、コーン油、ゴマ油などが購入可能である。

### <豆類>

豆類は種類が豊富である。パサールなどでは日本で見られないようなさまざまな豆類が売られている。もやしも比較的どこでも入手可能で、豆腐(味が多少日本と異なる)や、大豆を発酵させて加工した Tempe などよく見かける。

### <魚介類>

地元パサールではエビ、ミルク・フィッシュ、イカ、アジ、小型カツオ、タイ、タチウオ、カニ、フナ、ナマズなどが販売されている。スーパーマーケットでは、上記のような魚に加え、ツナやサケの切り身などが販売されている。日本では見られない白身の魚もあり、焼き物などにするとおいしい。日本食品店では冷凍魚(サケ切り身、サンマ、ウナギ)、煮干し、削りかつお節、塩辛、明太子なども購入可能である。

### <肉類>

パサールでは鶏、牛、羊の肉、スーパーでは肉類に加え加工品のハム、ソーセージ、輸入牛肉などが購入可能である。ただし、イスラム教徒が多い地域なので豚肉の販売は限られている。中央市場で豚肉、Gelaelで豚肉を使ったベーコン、ソーセージ、Mal Panakukkang Mas 内のスーパーマーケット Diamond ではオリエンタル・フードとして豚肉一般や加工食品が売られている。

### <乳製品>

ロングライフの牛乳は比較的どこでも購入可能である。パサールなどで粉乳、練乳、スーパーではヨーグルト、ホイップクリーム、チーズ、ヤクルトなどが入手できる。バターも購入可能である。

### <野菜>

パサールでキャベツ、白菜、トマト、ニンジン、タマネギ、ニンニク、ショウガ、タケノコ、レンコンその他地元の野菜が入手できる。スーパーではこれらの野菜に加え、常にではないが生シイタケ、マッシュルーム、ブロッコリー、アスパラガス、セロリ、パプリカ、ゴボウなどの野菜が販売されている。

### <果物>

バナナ、パイナップル、パパイヤ、ジャックフルーツなどは一年を通して、地元の市場など、比較的どこでも購入可能である。スイカ、メロン、ドリアン、マンゴー、ランブータン、マンゴスチン、柑橘類(日本のミカンに似たもの)などの果物は地元の市場では季節によるが、ジャワ島などから運ばれてくるため、スーパーや路上販売店などで購入可能である。外国からの輸入果物である、リンゴ、ブドウ、ナシ、キウイ、オレンジなどもスーパーマーケットではいつでも購入可能である。

### <干物>

パサールやスーパーで干しシイタケやキクラゲを入手できる。中国料理の食材であれば、比較的揃っている。

### <菓子(材料)>

菓子に関しては、スーパーなどで日本で見かけるような、チップス、チョコレート、クッキーなどひとつおりのものは揃っている。菓子の材料もよく販売されており、寒天、コーンスターチ、エッセンス、干しブドウなどは購入可能である。日本食品店にはせんべいやアイスクリームなど日本製のお菓子も置いている。

### <アルコール、飲料>

スーパーマーケットでは、紅茶、コーヒー、ウーロン茶、ジャスミン茶などが購入可能である。またジュース類、炭酸の入った清涼飲料水も比較的種類が豊富である。ビール、ワイン、ウイスキーなどのアルコールも種類は限られているが購入可能である。一般に売られているコーヒーは、アラビア風の飲み方を前提としており、非常に細かくコーヒー豆を挽き直接お湯に混ぜるため、フィルターを使った飲料には適していない。日本食品店ではコーヒー(フィルターを使って飲料するためのもの)、麦茶、玄米茶、緑茶、梅酒、焼酎、日本酒、ウイスキーなども扱っている。

ミネラルウォーターはインドネシアのさまざまなメーカーが製造・販売しており、330ml、500ml、1500ml などのペットボトルがある。ガス入りのミネラルウォーターもインドネシア産、輸入物などが入手できる。

### <調味料>

スーパーマーケットで塩、コショウ、香辛料、マヨネーズ、マスタード、ソース類などひとつおりの調味料は購入可能である。また、しょうゆ(「キッコーマン」)はふつうのスーパーマーケットでも購入可能である。日本食品店ではカラシ粉、酢、ワサビ粉、しょうゆ、ミリン、だし、ソース、ラー油、カレールー、練りワサビ、練りカラシ、日本製マヨネーズなど、種類は限られているがひとつおりの調味料は入手可能である。

### (3)食料の入手

日本食料品は日本食レストラン New Shogun の1階にあるストア ASKA(アスカ/所在地 :Jl. Penghibur)で手に入る。また、スーパーGelael(所在地 :Jl. Sultan Hasanuddin)、Carrefour(所在地 :Mol Panakuk kang Mas 内)、Matahari(所在地 :Mall GTC Makassar, Jl. Metro Tanjung Bunga)でも調味料や麺類など日本の食材を見つけることができる。

主要なスーパーマーケットは、ALFA(市内に2カ所。所在地 :Jl. Pengayoman、MTC Karebosi Makassar)、Matahari(市内に3カ所。所在地 :Mal Panakuk kang Mas、Pasar Sentral、Mal GTC Makassa)、Carrefour、Diamond(所在地 : Mal Panakuk kang Mas)、Gelael(所在地 :Jl. Sultan Hasanuddin)、Hero(市内に2カ所。



ショッピングセンター  
Mal Panakuk kang Mas

所在地 :Hero Panakuk kang Mas、Mal Ratu Indah)などである。

パサールは多数あるが、比較的好く利用されているのは Pasar Sentral(所在地 :Jl. HOS.Cokroaminoto)、Pasar Cina(所在地 :Jl.Lembe)や Pasar Ikan(所在地 :Jl. Pasar Ikan)である。Pasar Ikan は魚が主で、早朝および夕方に魚が水揚げされるため、その時間であれば比較的新鮮な魚が入手できる。

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

コップ、ガラス鉢、コーヒーカップ、皿などはひとつおりのものは購入可能であり、それほどデザインを気にしないのであれば問題のないレベルである。

上記したスーパーマーケット(Carrefour、ALFA、Matahari、Diamond、Gelael、Hero)および Lotus(Mal Ratu Indah)、Alaska(所在地 :Jl. Pengayoman No.8)、ショッピングセンターMal Panakukkang Mas Delta(Panakukkang Mas Trade Center)などが比較的种类が豊富である。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

包丁(現地製品は切れ味が悪く、出刃や牛刃はない)、ご飯茶碗、汁碗、きゅうす、湯飲み、丼(深皿、代用品はある)など、日本の陶器で日常に使用したいものがあれば持参するとよい。

## 5. 生活用品の購入



### 5-1 家電製品

家電製品は日本とまったく変わりがないほど、種類、メーカーとも豊富である。ショッピングモールなど、市内各所の電気店で購入できる。また、電気店が多く軒を連ねる電気店街(所在地:Jl. Kertajaya)があり、他店と値段を比較して値段交渉をすることも可能である。

### 5-2 家具

家具店は市内のいたるところに見られるが、特に Jl. Gunung Latimojong に集まっている。メーカー品で完成品を販売する店と、店舗で注文に従い製作する店舗がある。通りの店舗を数軒見学し、現物を確認して購入することを勧める。また、MalPanakukkang Mas、Mal Ratu Indah などにも高級家具を販売する店がある。

### 5-3 日用品、雑貨

日用品の購入であれば、Carrefour、ALFA、Diamond、Alasuka、Delta などひとつおりのものは揃うが、店舗によって値段の違いがある。文房具に関しては、文房具専門店である Toko Agung(Hotel Sahid 前)や Karisma(所在地 :Hero Panakukkang Mas)、Gramedia(所在地 :Mal Panakukkang Mas、Mal Ratu Indah)などの書店が豊富である。

## 5-4 工具、素材など

日本のように日曜大工に適する工具、材料などを揃えている店は少ないが、資材関係の店(Toko Bangunan)を丹念に探せば必要なものを購入できる。ただし、置いている製品は中国製などが多く、安価であるが、種類、デザイン、品質ともに日本人の好みに合うものを探すのは難しい。市内のいたるところに Toko Bangunan は見られ、特に店舗を探すことに困難はないが、Jl. Sulawesi などに比較的多くの店舗が見られる。また、上記した Carrefour、Diamond、Delta などには比較的家庭で必要とされそうな工具、材料が販売されている

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

通常、銀行の業務は 8:00～14:30 となっているが、銀行によって多少の違いがある。特に、金曜日の昼はイスラム教徒の男性にとって礼拝の義務があるため、7:30～11:30、13:30～15:00 と変則的になっている場合もある。銀行は月曜から金曜日までが営業日であり、公定の祝日は休みとなる。



日本人が比較的良好に利用する銀行は以下のとおりである(詳細は Part3 イエローページを参照)。

現金を引き出す場合、市内であれば ATM を探すことに苦労することはないが、日本のようにすべての ATM が利用可能というわけではない。銀行によって、それぞれ ATM の相互利用を可能にするグループがあるため、それぞれの ATM で確認する必要がある。

#### <銀行>

- ・Bank Central Asia (BCA)
- ・Bank International Indonesia (BII)
- ・Bank Negara Indonesia (BNI)

#### (2) 口座の開設と閉鎖

在留日本人の場合、Bank Central Asia (BCA)、Bank International Indonesia (BII)、Bank Negara Indonesia (BNI) では、KIMS (Keterangan Izin Menetap Sementara / 外国人に発給する長期滞在査証) とパスポートを持参すれば即日口座開設が可能である。また、この 3 行では最初に 50 万ルピアを預けることで、ルピア口座の小切手帳および ATM 用銀行カードの発行してくれる。

#### <Bank Central Asia (BCA) >

ルピア口座の場合、最初に 50 万ルピアを預けることで、小切手帳および ATM 用銀行カードが発行される。

米ドルの口座を開設する場合、最初に 500 米ドルを預け、上記の書類にあわせて NPWP (Nomor Pokok Wajib Pajak / 納税登録番号) が必要である。

口座を閉じる場合、書類を提出し、ルピア口座の場合は手数料 5000 ルピア、米ドル口座の場合は 1 米ドルを支払うことで口座を閉じることが可能である。

## &lt;Bank International Indonesia(BII)&gt;

ルピア口座の場合、最初に 50 万ルピアを預けることで、小切手帳および ATM 用銀行カードが発行される。

米ドルの口座を開設する場合、最初に 250 米ドルを、預ける必要がある。

口座を閉じる場合、書類を提出し、ルピア口座の場合は手数料 3 万ルピア、米ドル座の場合は 10 米ドルを支払うことで口座を閉じることが可能である。

## &lt;Bank Negara Indonesia(BNI)&gt;

ルピア口座の場合、最初に 50 万ルピアを預けることで、小切手帳および ATM 用銀行カードが発行される。

米ドル口座を開設する場合、最初に 250 米ドルを、日本円の場合は最初に 5 万円を預ける必要がある。

口座を閉じる場合、書類を提出し、手数料を払う必要があるが、手数料に関しては銀行で確認すること。

なお、BNI には小切手の発行を伴わない銀行口座(Taplus)があり、この場合、パスポートのみで銀行口座開設が可能である。最初に預ける預金額により ATM 用の銀行カード発行は可能である。

## (3)小切手

上述したように、通常のルピア口座を開設すると小切手帳の発行が行われる。ただし、一般の商店での小切手支払いはあまり一般的ではない。

## (4)換金方法

銀行での換金事情は以下のようになっている。銀行によって換金レートが異なっていることに留意する必要がある。また、一般に米ドルの場合、1999 年以降の紙幣しか銀行では受け付けないことにも留意する。なお、市内には民間の外貨交換業者がいるが、詳細は不明である。

## ・P.T. Bank Risona Perdania

米ドルの場合、現金および T/C の換金可能(ただし額面 300 米ドルまで)。  
日本円の場合も現金および T/C での換金可能。

## ・Bank Central Asia(BCA)

米ドルの場合、現金のみ可能。日本円は不可。

## ・Bank International Indonesia(BII)

米ドルの場合、現金および T/C の換金可能(ただし確実なのは American Express の T/C)。日本円は不可。

## ・Bank Negara Indonesia(BNI)

米ドルの場合、現金および T/C の換金可能。日本円の場合も現金および T/C での換金可能。

**6-2 クレジットカード**

Visa および MasterCard はよく普及しており、スーパー、ホテルなどでも使用可能である。市内のいたるところで見られる ATM でのキャッシングも可能である。

ただし、気をつけたいのは、クレジットカードのデータを読み込んで偽造カードを作ったり、購入していない品物に対して請求を行うなど、クレジットカード関連の犯罪が多発していることである。基本的に、クレジットカードの手続きは目の前で行わせること。また、通常使用するクレジットカードは限度額を低くしておくなど、対策を講じておくことを勧める。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

マカッサルへは空の便でジャカルタから約 2 時間、バリから約 1 時間で、近年、国内航空の自由化が進み、多くの航空会社がさまざまな値段でサービスを提供している。マカッサル島内は州都まで航空便が飛んでおり、島内の移動に利用することも可能である。国営の Garuda に加え、Merpati、Lion などがある。料金は、たとえば、マカッサル～ジャカルタ間で 85 万～293 万ルピア(往復)、マカッサル～バリ間で 90 万～160 万ルピア(往復)の幅が見られる。

マカッサルからスラウェシ島内の地方都市へは、大型から小型のバス、乗用車タイプの Panther と呼ばれる交通機関が主要な交通機関となっている。マカッサル～トラジャは陸路で 8 時間程度かかるが、エアコンを備えた大型バスも運行しており、多くの旅行者が利用する交通機関である。中部スラウェシ州以北へ陸路での移動も可能であるが、Poso など、いまだに治安の問題がある地域を通るため避けたほうが無難である。多くの場合、レンタカー(運転手付)か自家用車を利用することになる。

市内の交通機関としては、比較的遠距離であればタクシーかミニバス(Pete Pete)、近距離であれば人力車(Beca)という選択肢がある。タクシーは初乗り料金が 4700 ルピアで、特に注意しなくても運転手はメーターを使用する。ミニバス(Pete Pete)の運賃は市内であれば 2000～2500 ルピアであり、ルートが決まっているが乗降は自由である。ただし、ルートマップ等があるわけでもないの、慣れるまで外国人には利用が難しい。近距離であれば人力車が利便性はよいが、外国人には法外な金額を要求することもあり、事前に交渉する必要がある。人力車で 10 分程度の距離で 5000 ルピア程度であるが、地域によっておおよその金額があるので、地元の人や青年海外協力隊員などに確認することを勧める。

#### (2) 空港から市内への移動

空港には通常の交通機関(タクシーや乗り合いバス)は入ってくるできないため、自前の交通手段がない場合には、空港タクシーを利用するしかない。空港到着口玄関での前払い制で、市内は 3 区分となっている。料金は 6 万 4 千、7 万 5 千、8 万 7 千ルピアとなっており、空港到着ロビー表にある空港タクシーカウンターで行き先を告げ、前払いで上記の料金を支払うことになる。

ちなみに、JICA MFO が入っている Hotel Sahid Jaya Makassar までは 8 万 7 千ルピアとなり、所要時間は、有料道路(料金 :2000 ルピア/普通車)を通して

約 40 分前後である。

また、空港から、マカッサル市内でなく、南スラウェシ州内他県に行く場合も料金が定められているので、必要があればカウンターで確認すること。

### (3) 自家用車を利用する場合

ジャカルタと比べれば交通量は多くないが、ちょっとしたことで渋滞が起こる。市内の道路は一方通行が多く、交差点もロータリー方式が多いため、運転には道路を熟知する必要がある。また、車、バイク、人力車が縦横に走り回っており、信号も日本のルールとやや異なっているため、自分で運転する場合には極力注意を払う必要がある。

### (4) レンタカーなどを利用する場合



日本人がよく利用する Santigi Asri や Merista Travel (詳細は Part3 イエローページを参照) では運転手つきで車を派遣してくれる。車種や交渉次第だが、燃料、運転手込みで、1 日 45 万ルピア (市内) 程度である (2007 年 8 月現在)。

### (5) 地図

日本のように正確な道路地図は見あたらない。比較的詳細でわかりやすいのは、Periplus 社のシリーズ Periplus Travel Maps の Ujung Pandang 編である。また一般的に入手が容易な地図は、El Sena 社の Makassar 市内地図がある。地図は書店で入手できる。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

車を所有する場合、保険に入っておくことを勧める。人身事故の場合、こちらに非がない場合でも治療費を払う必要性が高く、また、車両同士の場合、相手側に非があったとしても、十分な修理費等を受け取ることができない場合があるためである。

人身事故の場合、特に子供が被害者である場合は、興奮した被害者家族や周囲の人々が事故を起こしたドライバーや同乗者に集団で暴行を加えるケースもあるため、すぐに現場を離れ、近隣の警察に行き、運転手および同乗者の安全を確保してもらったほうがよい。どのような場合でも、周囲の人々が興奮するような様子が見られる場合、すぐに現場を離れ、警察および日本領事館に連絡し、対処方法を相談することが賢明である。

### (2) 救急病院

24 時間体制で緊急の患者の受け入れが可能であり、救急車も備えている。ただし、自力で移動が可能であれば、タクシー等で病院まで行く方が確実である。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車両本体の盗難はあまり聞かないが、カーステレオ、ホイールキャップなどは盗難の被害に遭いやすい。また、子供等がいたずらで車に傷をつけるケースも多いため、運転手には常に車から目を離さないよう義務づけること。

### 7-3 交通違反

#### (1) 交通法規

日本と同じく左側通行である。法規はあるもののあまり守られていない。

信号、横断歩道などは少なく、歩行者は個人の判断で道路を横断し、人力車、バイク等の運転も周囲に注意を払うことなく行われている。車もかなり強引な運転が多く、マカッサルの交通事情はあまり誉められた状況ではない。

#### (2) 罰金、罰則

公式には、警察より違反切符(Surat Tilang)を受け取り、違反に応じ連絡があるので、その連絡に従い罰金を支払うことになっている。しかし、実際にはその場で警察官と交渉して 5 万ルピア程度のお金を払うのが最もふつうに行われている方法である。

### 7-4 車の修理

#### (1) 部品

以下に記す日系自動車ディーラーの修理工場であれば、メーカー製の部品が入手可能であり、修理もその場で行ってもらえる。より安価に済ませたい場合、市内にある民間の修理工場等に相談するという方法もある。

#### (2) 修理工場

主な修理工場は以下のとおり。



- ・P.T. Hadj Kalla (トヨタ系)
- ・P.T. Bosowa Berlian Motor (三菱系)
- ・P.T. Astora International Tbk-Daihatsu (ダイハツ系)
- ・P.T. Astora International Tbk-Isuzu (いすゞ系)

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

固定電話は、国営電話会社 Telkom がサービスを提供しており、通信状態はそれほど悪くないが、さまざまなトラブルで通話ができなくなる頻度は多い。

日本にあるような公衆電話は少なく、一般的には Wartel (Warung Telekomunikasi) と呼ばれる民間の電話局が利用されている。店舗に電話が複数設置してあり、電話をした後に料金を支払う。ただし、近年携帯電話の普及が著しく、仕事で関係を持つようなインドネシア人であれば、まず携帯電話を持っていると考えてよいであろう。若者の間では、SMS (Short Message Service) と呼ばれる携帯間でのメールのやり取りが普及しており、日本同様、携帯のキーを押し続ける姿を町中でも頻繁に見かける。

#### <固定電話料金>

市内 259 ルピア/分

市外(ジャカルタ) 2,270 ルピア/分

海外(日本)6,000 ルピア/分 \* 007 利用の場合

また、市外・海外への電話料金ともに、曜日・時間帯によって変動する。

<携帯電話料金> \* Telkomsel Halo, Mentari 利用の場合

市内 813 ルピア/分

市外(ジャカルタ)3,083 ルピア/分

#### (2) 国内電話

国内電話のサービスは近年改善されており、固定電話の加入もそれほど待たずに可能になっている。Telkom で設置を申し込み、申し込んだ回線の種類(市内のみ、市外通話可能、国際電話可能、その他有料情報の番号に通話可能)に従いデポジットを支払う必要がある。ただし、電話線が近くまで敷設されていない場合、新規の電話敷設は難しい場合もある。

#### (3) 国際電話

固定電話から国際電話をかける場合、通話状態は良好である。市内の Wartel から国際電話は可能である。コレクトコールに関しては、自宅の固定電話からは可能であるが、Wartel からは通常できない。

#### (4) 携帯電話

携帯電話は非常に多くの会社がサービスを提供しており(Halo、Simpati、Mentari、Mtriks その他多数あり)、料金や普及している地域には多少の違いがあるが、相当の僻地でなければほぼ全国通話可能である。使用料は、プリペイドカードによる前払いと月払いがあり、前払い方式であれば携帯電話を購入したその場で通話可能になる。月払いの場合、各携帯会社による手続きに時間がかかり(1 週間程度)、職場等から月払いが可能であることを証明する書類の添付が必要である。

よく見かける機種は Nokia、Siemens、Samsung 等である。現時点では、日本から持ち込んだ携帯をインドネシア内で使用することはできない。市内には携帯電話を販売する店舗がいたるところで見られるので、店舗で直接デザイン等を確認して購入するとよい。

## 8-2 電信

#### (1) ファクシミリ

電気店、コンピューター関連店舗で販売されている。日本人宅でもファクシミリは一般的となったが、回線状態がよくないと、しばしば送信エラーが出る。Wartel やホテルでも利用可能である。

#### (2) テレックス

該当情報なし。

#### (3) 電報

電報は国営の電話会社である Telkom および民間の電話業者である Wartel で受け付けている。ただし、外国語の場合はスペルミスが多い。

#### (4) インターネット

当地では電話回線を使ったダイヤルアップ接続が一般的であるが、マカッサル市内では近年高速回線を提供するサービスも普及し始め、多くの在留邦人は同サービスを利用している。

TELKOM(所在地: JL.A.P.Pettarani No.2, Makassar、電話: 0411-880000、Fax: 0411-860000)が提供している「Speedy」が最も人気があり、快適にインターネットを利用することができる。料金は登録料 15 万ルピアで、家庭用パケットの使用料は月額 30 万から 70 万ルピア(パケットの種類による)である。

その他のプロバイダーとしては、Indosat Net(所在地: Komplek RukoDewi, Jl. Bontosaua 1C, Makassar、電話: 0411-310072、FAX: 0411-313822、URL: <http://www.indosاتم2.com/>)を利用する人が多いが、ダイヤルアップ接続となる。登録料は 4 万 5 千ルピアで、使用料は一ヶ月あたり 20 時間利用の場合で月額 5 万 5 千ルピア、38 時間で 10 万ルピア、71 時間で 18 万ルピア、283 時間で 70 万ルピアである。このプロバイダーを使用するためには申し込みが必要であるが、即日使用可能である。

#### <Telkom インスタント・サービス>

メール・アカウントが必要なく、申し込みなしで使用したい場合、国营電話会社 Telkom が提供する、電話通話料にプロバイダー・サービス料金が含まれているインスタント・サービスが全国で利用可能である。

電話: 080-989999 / 全国一律

その他、郵便局でもサービスを提供しているが、あまり一般的ではない。

モジュラージャックの形状は日本と同じであり、日本で購入したラップトップ等に付属しているモデムで問題なく接続できる。

そのほか、コンピューターの使用には「10. コンピューター」も参照のこと。

### 8-3 郵便

#### (1) 一般事情

一般的には、下記の中央郵便局を利用することが多いと思われるが、外国からの荷物で 5kg 以上の場合、バライコタ支店で受け取ることとなる(詳細は Part3 イエローページを参照)。



・Kantor Pos Pusat (中央郵便局)

・Kantor Pos Balai kota (バライコタ支店)

国内郵便には普通便、速達便(Kilat Khusus)、Express がある。例えば、マカッサルからジャカルタまで郵送するとすれば、最も安い場合で、普通便が 2 千 5 百ルピアで 1 週間、速達便が 6 千ルピアで 2~3 日、Express が 1 万ルピアで 1 日となっている。

国際郵便は、EMS(国際スピード郵便)の利用が可能である。例えば、マカッサルから日本に郵送する場合、10 万ルピア(250g まで)で 4 日となっている。

なお、TIKI と呼ばれる民間宅配会社があり、料金は多少高くなるが、国内であ

れば迅速で、信頼性も高い。マカッサルでの住所は以下のとおりである。

所在地: Jl. Boulevard Raya Ruko Ruby No.14-15, Panakukkang Mas

電話 : 0411-447888

### (2) 課税

小包が到着すると中央郵便局より連絡があり、受け取りに行く必要がある。

内容物により課税されることがある。電気製品などの場合、申請金額(内容物および送料)の100%以上が課税されることもあるので注意が必要である。課税されない場合でも、手数料として5千ルピアを払うのが慣行である。受け取りは上述したように、中央郵便局の場合とバライコタ支店の場合があるので注意する必要がある。

### (3) 国際宅配サービス

当地で代表的な国際宅配サービスを行っているのは以下の2社。両社とも、マカッサルから日本に送付した場合、所要日数は通常4日である。



#### ・DHL

マカッサル→日本/10Kg: 111万2千ルピア、25Kg: 140万ルピア

住所: Jl. Boulevard No.8, Komp. Panakukkang Mas、電話: 0411-437888

#### ・Fedex

マカッサル→日本/10Kg: 165万1千3百ルピア、25Kg: 249万4千ルピア

住所: Jl. Airport No.16、電話: 481-32411

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

Windows系のコンピューターであれば市内で購入可能であるが、一般的に売られているのは、各店舗でパーツから組み立てたものである。デスクトップであればディスプレイも含めて5百万ルピア程度で、Microsoft Officeなどのソフトを使用するのであれば十分なスペックのものが購入可能である。ラップトップに関しては、メーカー品となるため、日本で購入するよりも高く、機種も限られており、製品も古いものになってしまう。

Mac系のコンピューターは、取り寄せで購入可能であるが、メンテナンスやソフトの状況を考えると、あまり勧められない。

ソフトは、製品版を購入するという考え方があまり普及しておらず、コンピューターを購入するとさまざまなソフトがついてくるが、多くの場合、正式なライセンスを得ていないものである。

周辺機器やCD(R/RW)ディスク、DVD(R/RW)ディスクなどの消耗品は購入可能であるが、最新の製品を探すことは難しく機種も少ない。MOはあまり見ないようである。日本で販売されているような多機能なものはあまり販売されておらず、機能は限定されているが価格はやや高いように思われる。

### (2) 使用の際の注意

停電が多く電圧も安定しないため、スタビライザーとUPSを使用する必要がある。また、現地で使われているコンピューターはウイルスに感染している可能性が高く、安易にデータのやり取りを行うと、ウイルスに感染することが少なくない。メール等でもしばしばウイルスに感染していると思われるメールが送信されてくる。ウイルス対策のソフトで自己防衛するしかないと思われるが、インターネット環境もあまりよくないため、最新のウイルス定義ファイル等をダウンロードする手間を覚悟する必要がある。上記したことと矛盾するが、このような対策としては Mac 系のコンピューターは有効である。

ソフトに関しては、まだまだ製品版を購入するということがあまりふつうでなく、店舗によっては製品版が存在することさえ明確に理解できていない場合もあり、特殊なソフトの製品版を購入するのは難しい。

### (3) 修理

Windows 系で、ハードの修理であれば可能であると思われるが、日本語環境でのソフト的な問題の解決はかなり難しいと思われる。こちらで製品を購入すると 1 年間程度の保証期間があり、その間に故障した場合、修理でなく製品の交換に応じてくれる場合も多い。

Mac 系は、ハードであれソフトであれ、修理は不可能である。

周辺機器も保証期間内は無償の修理か交換が可能である。保証期間後も修理を行うことは可能であるが、修理は必ずしも信頼が置けるとは限らない。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

<南スラウェシ州事務所>

月曜日から金曜日までが勤務日で、就業時間は月曜日と金曜日が 7:30～16:00、火曜日と木曜日は 08:00～16:00 となっており、昼休みは 12:00～13:00 となっている。ただし、金曜日は運動の日となっており、清掃活動や運動を行い、イスラム教徒の男性は昼の礼拝を行うため、昼休みは 11:00～13:00 となっている。また、ラマダン(断食月)期間中の就業時間は、月曜日と木曜日が 08:00～15:00、金曜日は 08:00～15:30 となる。

<地方州政府>

州政府とは勤務日が異なっており、月曜日と土曜日までが勤務日で、勤務時間は通常月曜日と木曜日が 07:30～14:00、金曜日が 07:30～11:00、土曜日が 07:00～13:00 となっている。

残業に関しては、ふつうの職員はそれほどないようであるが、管理職にある職員は夜遅くまで仕事を行い、土日も会議や行事等に出席することがある。

#### (2) 有給休暇

政府機関であれば、有給休暇は年間 12 日であるが、それ以外に忌引き、結婚、

病気などの休暇制度が多くあり、実際の日数はわからない。

(3) 執務室

該当情報なし。

(4) 通勤事情

一般的には自家用車で通勤する。

## 11. 出入国手続き



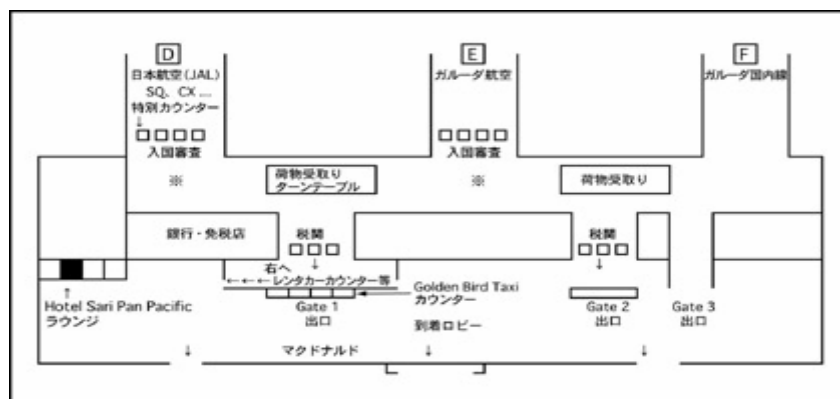
### 11-1 入国

(1) 空港施設概要

<スカルノ・ハッタ(ジャカルタ)国際空港>

スカルノ・ハッタ(ジャカルタ)国際空港は、到着ロビーが1階、出発ロビーが2階と分かれている。一般車両はすべて、1、2階で乗降のみを行い、駐車は1階の有料駐車場を利用する。タクシーを利用する場合は、ゲートを出たところにある Golden Bird(Silver Bird)カウンターで申し込む。

スカルノ・ハッタ国際空港(1階到着ロビー)



<ハサヌディン(マカッサル)空港>

マカッサルのハサヌディン/Hasanuddin 空港は、1階建てで、施設の中で迷うことはない。近年、外国からの定期便が飛んでいないため、国際空港としてはほとんど機能していない。

また、日本人等の一時訪問者に対する到着ビザ取得が可能な空港に指定されておらず、マカッサルからの入国は通常はない。

(2) 入国手続き書類

出入国カードに必要事項を記入する。出入国カードの左部分(Departure Card)は出国の際に必要なになるので、必ず確認してパスポートとともに保管すること。

税関申告書は、持ち込む品物が免税範囲を超えない場合でも税関への提出が義務づけられている。

(3) 入国審査

入国手続きは簡単で、検疫、入国審査の順に進み入国となる。

### <検疫>

アフリカからの入国については、検疫で手続きを受けること。

日本から直接でも他国経由でも、乗り換えのみで入国する場合は不要。

### <入国審査>

入国審査ではパスポートと入国カードを審査官に提出し、滞在日数などの簡単な質問に答える。観光目的の場合、到着地の空港でビザの発給を受ける、3日間(到着日・出発日を含む)の滞在ビザで10米ドル、30日間(同)の滞在ビザで25米ドルを支払う。ビザは国内7空港(ジャカルタ、バリ、メダン、スラバヤなど)と十数港で発給する。

#### (4)税関検査

基本的に新品の電気製品、ゴルフ道具等は厳しく査定されるが、中古品であれば日本で自己使用していた旨を告げれば無税で通関できる。空港の税関検査は税関吏にもよるが一般的に厳しい。木箱、段ボール梱包の荷物は厳しく検査される。

特定の外交官を除き、税関内の立ち入りは許可されていないので注意すること。

#### (5)空港内での留意点

スリ、置き引きなどが発生しているので各自で注意すること。

#### (6)空港からの主な交通手段

「8. 交通事情」で述べたように、空港内には一般のタクシーは入ることができないため、自家用車を除けば、空港タクシーを利用するしかない。空港到着口の出口にタクシーカウンターがあるので、そこで支払いを行い、タクシーで目的地に行くのが通常である。「8-1 交通手段(2) 空港から市内への移動」も参照のこと。

#### (7)その他の留意点

該当情報なし。

## 11-2 出国

#### (1)出国時の概要

ジャカルタ、あるいはデンパサールからの出国が一般的である。

手続きは、出国カード(チェックインカウンターにある)に記入して出国審査を受け、搭乗となる。

#### (2)リコンファーム

日本で発券された日本航空のチケットを含め、通常リコンファームの必要はないが、ガルーダ航空など、日本航空以外のチケットの場合は、念のため2日前までに行う方が無難である。主な航空会社は以下のとおり。

・ガルーダ航空 (電話 :021-23519999)

・シンガポール航空 (電話 :021-57903747)

#### (3)チェックイン

スーツケースは必ず施錠し、貴重品はなかに入れない。

#### (4) 空港利用税

空港使用税は、3 万ルピア(国内線)である。出国時の空港利用税は 10 万ルピア、その他に通常フィシカル税(出国税)として 100 万ルピアを支払う必要がある。

#### (5) その他の留意点

赴任中の出入国には、滞在許可とビザが有効期間内であることが必要である。失効前に延長手続きをすること。

また、任期を終えて帰国する際は、別途出国ビザが必要となるので注意すること。このビザは引越し荷物を船便で送る際に日本で荷物が免税扱いされる。

### 11-3 帰国手続き

#### (1) 帰国時に必要な事務手続き

長期滞在者は出国査証の取得が必要である。

#### (2) 車の処分

手続きには余裕を持って行う必要がある。

#### (3) 家財道具の処分

日本に荷物を送る場合、郵便小包か FedEx あるいは DHL などの国際宅配サービスを利用する機会が多いようである。上記のような方法で送ることのできない荷物の場合、ジャワ島のスラバヤに国内の会社を使って送り、そこから日本へ送る手配を行う場合があるようである。

マカッサルで、日本まで(ただし、日本の空港まで)運送の手配が行える会社として以下のようなところがある。

・Mattapa Tour & Travel Service PT

#### (4) 住宅の明け渡し

電話代など光熱費の精算を忘れずに行うこと。帰国前に料金がわからない場合は、おおよその金額を家主に渡し、残金は銀行送金してもらうとよい。

#### (5) 外貨持ち出し規制

日本円、米ドルなどの持ち出しについては、特に制限はない。インドネシアルピアの持ち出し、および持ち込みについては、1000 万ルピア以内であれば中央銀行への報告は必要ない。

## 12. 治安、 緊急時の心得



### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

マカッサル市内では、学生などによるデモはしばしば発生するが、商店街での略奪や放火が行われるような大きな暴動は 1997 年以來起きていない。デモが発生した場合、まず道路の渋滞が始まり、しばしば道路でタイヤ等を燃やすため、遠くからでも黒い煙が立ち上るのが目撃される。デモの場合、赤いナンバープレートをつけた公用車を学生が略奪し、デモ等に使用するケースも発生しているが、最終的には返却されている模様である(このため、近年、公用車でもふつうのナ

※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報入手してください。

ンバープレートを用意し、場合によって使い分けている)。

2003年には公共料金の値上がりに端を発するデモが続き、2004年には国政選挙関連のデモが突発的に発生している。デモは、南スラウェシ州事務所、南スラウェシ州議会、インドネシア国ムスリム大学、45 大学などが連なる Jl. Urip Sumoharjo 近辺で始まることが多い。

過去の例からは、学生のデモのほか、中国系住民と地元民との関係に絡む問題がある場合、大きな暴動に発展する可能性が高くなるとされる。しかし、1998 年以降、住民間のエスニシティーに基づく関係は変わってきていると言われており、大きな暴動が発生する可能性は以前より少なくなっている。2006 年に中国系住民がインドネシア人の家政婦を殺害する事件が発生し、一時きな臭い雰囲気は漂ったが、1997 年の大暴動のような大きな暴動に発展することなく沈静化した。

#### (2) 対処法

市内でデモが続いている場合、住民の動向に注意し、同僚のインドネシア人より情報収集に努める。暴動などが発生した場合、自宅等の安全な場所で待機するのが賢明である。また、マカッサルの日本人会に連絡網があるため、連絡を密に保つ必要がある。暴動などが起こった場合、外出を控えなければならない可能性があるため、日常的に数日間は自宅ですごせるだけの食料品を備蓄しておく。

## 12-2 強盗、盗難

#### (1) 一般的治安状況

マカッサルの治安は比較的安定していると思われるが、日常的に注意を払い、犯罪等に巻き込まれないように心がける必要がある。

#### (2) 住宅の防犯対策

防犯対策として、門番兼夜警を雇っている Kompleks に滞在している邦人が多い。また、各家庭で、盗難保険への加入、番犬、施錠、窓に鉄格子を設置するなどの対策を講じているが、周囲の日本人家庭で行っている対策を参考にするとよい。また、よほど信頼をおいている人物でない限り、警備員や清掃員など、顔見知りの人でも家のなかには入れないほうがよい。

#### (3) 市中での防犯対策

特になし。

#### (4) 注意すべき場所、危険地域

市内では Kecamatan Talo、Jl. Sungai Saddan Baru 近辺などが、あまり治安がよくないといわれている。

車に乗っている場合、常に鍵がロックされているようにすること。人込みやペテペテと呼ばれる乗り合いバスを利用する場合、スリ等の軽犯罪にも注意する必要がある。

## (5)被害時の心得

強盗に遭遇した場合は、抵抗しないで金品の要求に応じるのが賢明である。

**12-3 火災、風水害、地震**

## (1)一般的災害発生状況

毎年雨季(11～4月ごろ)には市内で冠水する地域があり、スラウェシの地方都市を結ぶ幹線道路も水没することがある。乾季(5～10月ごろ)には水道が断水したり、ひどいときには井戸も枯れる場合がある。

近年、インドネシア各地で大地震が発生しているが、マカッサル市近辺では大きな地震が発生したことはない。しかし、マカッサル市から車で約3時間のパレパレ市では1997年に大きな地震があり、建物が崩壊するなどして死傷者が出ている。

スマトラやカリマンタンでは大規模な山火事が毎年発生しているが、マカッサルへの影響は少ない。

## (2)防災対策

非常時に備え、ある程度の飲料水や食品を備蓄しておくことよ。

## (3)被災時の心得

緊急連絡網に従い、連絡を怠らないこと。

**12-4 緊急連絡先電話番号**

- ・日本大使館 :021-31924308
- ・在マカッサル日本国総領事館 :0411-871030/851882
- ・警察 :110、消防 :113、救急車 :119

**13. 社交****13-1 風俗習慣**

インドネシア人と食事をともにする場合は、相手の宗教を承知しておくことが大切である。一般にイスラム教徒は豚肉を食べず、ヒンズー教徒は牛肉を食べない。また、イスラム教徒は飲酒が禁じられているため、表立って飲酒することはない。ふつうの家庭や知人同士のパーティー、夕食に招かれても、酒類が出されることは少ない。

インドネシアは民族が多様であり、インドネシア内でもエスニシティーごとに典型的な性格がある。

たとえば、ジャワ人は総体的に穏やかであるが、その反面、本音を表立っていわないとされる。しかしながら、いったん激しい興奮状態になると、自制心を失った状態になる傾向も見られる。

南スラウェシ州の主要な民族は、ブギス、マカッサル、トラジャ、マンダールである。一般的には、ブギスとマカッサルを区別しないことが多いが、地元の人によれば違いがあるとのことである。マカッサル人は、洗練されておらず、上記した4

民族のなかでは、やや粗暴な印象があり、あまり勤勉でないともいわれる。イスラム教が主要な宗教である。

ブギス人は海洋民族として知られているが、現地である南スラウェシ州では農業が主要な産業であり、農業に秀でた民族である。マカッサル人と比べ、洗練されたところがあり、過去の王国に基づく血統などが今も重視されている。地方の商人にはブギス人出身が多いといわれている。主要な宗教はイスラム教である。

トラジャ人は、より洗練された印象があり、勤勉で、教育などにも熱心であると考えられている。他の民族との違い、キリスト教徒が多い。

マンダール人は他の民族と比べるとややその性格があいまいであり、際立った印象を持たれていないが、強いていえば、伝統的な習俗をいまだ保持している人々と考えられている。マンダール人の多い北部南スラウェシ州では、トラジャ人、ブギス人や州外からの移民者が見られ、民族的に複雑な地域となっている。キリスト教徒、イスラム教の両方が見られる。

ジャワ人との比較で考えると、南スラウェシの人々は物事を明確に主張し、積極的な印象を与える。考えていることを率直に表明することが多く、折衝においてジャワ人より理解しやすいとの印象を受ける人が多いようである。一方で、名誉を非常に重んじる傾向があり、名誉が傷つけられたと感じた場合、殺傷事件などに発展する場合も他の地域と比べて多いことを知っておく必要がある。

### 13-2 パーティーでの留意点

服装は、男性は背広または長袖バティック、女性も長袖を着用する。結婚披露パーティーでは背広も一般的である。

現地の人と積極的に接触し、国情、文化を理解するよう努力することが求められる。立食パーティーが多く、夫妻単位でプレゼント持参で出席する習慣がある。最近はお金を包むケースも増えている。

婚礼に招かれた場合は、新郎新婦へ「Selamat berbahagia selalu(末永くお幸せに)」「Selamat menempuh hidup baru semoga berbahagia dan rukun-rukun selalu(新生活に入るお2人、おめでとうございます。どうぞいつまでも仲よくお幸せに)」などとお祝いを述べる。

葬儀の際の遺族へのお悔やみは「Saya turut berduka cita(心からお悔やみ申し上げます)」などが一般的である。

### 13-3 来客時の留意点

イスラム教の人にはアルコールや豚肉を勧めないこと、また、お祈りの時間を避けて招待すること。

ホスト側が「どうぞ」というまでは、食べたり飲んだりしない習慣があるので、「どうぞ召し上がってください」と声をかけるなど細かな気配りが必要である。

### 13-4 訪問時の留意点

日本での礼儀作法をわきまえていればよい。

### 13-5 禁止されている言動（タブー）

人に物を渡すときに左手を使わないこと。

大声で人をののしったり、しかったりしてはならない。使用人に対しても人前で怒鳴ったりしないこと。

会話の際に腰に手をあてるのは怒りのしぐさとされている。また、足を組むのは不遜な態度ととられることがある。これらの癖がある人は気をつけること。

よほど親しい間柄でなければ、相手の服装を話題にするのは避けたほうがよい。また、女性の場合は過度に肌を露出してはならない。

### 13-6 日本人会

マカッサル市を中心とする南スラウェシ日本人会は存在するが(2007年6月時点で会員86名)、役員等は持ち回りとなっており、特定の事務所、連絡先はない。ただし、慣例として、マカッサル日本国総領事館の職員より役員が選定されており、入会等の情報に関しては総領事館が問い合わせに応じてくれる。

・在マカッサル日本国総領事館

所在地 : Jl. Jenderal Sudirman No.31, Makassar

電話 : 0411-871030/851882

FAX : 0411-853964

### 13-7 現地の人々との交流

該当情報なし。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

教育制度は日本と同様、6・3・3制である。現地の小学校、中学校への日本人子女の入学は可能だが、言葉の問題がある。

#### (2) 日本人学校



日本人補習校が総領事館の敷地内にあり(詳細は Part3 イエローページを参照)、在留日本人のボランティアや父母の協力により運営されている。授業はインターナショナル・スクールや現地校の放課後に行い、算数(数学)と国語を基本に、必要に応じて理科、社会、英語等も行うことがある。補習校の責任者は生徒の父母が行っている。問い合わせは上記の在マカッサル日本国総領事館へ。

#### (3) 現地校、外国人学校



Makassar International School(マカッサル・インターナショナル・スクール)があり、オーストラリアおよび英国のカリキュラムに準拠した授業を行っている。使

用言語は英語となっている。クラスは 5 歳児を対象とした幼年部 (Kindergarten) と、1 年から 7 年生までの生徒を受け入れている。なお、入学を希望する生徒に関する国籍等の条件はない。

#### (4) 幼稚園

幼稚園 (Preschool) はマカッサル市内に多数あり、日本の幼稚園より、英語やコンピューターなどの幼児教育に力を入れているようである。

英語を主体に保育を行っているのは、近年再開された、上記マカッサル・インターナショナルスクールの幼稚園 (Preschool) がある。

その他、英語のみを使う幼稚園としては、以下の学校がある。



#### ・Bambini (Preschool)

なお、マカッサルでは外国人が集まり、お茶会、エアロビクス、裁縫などの活動を行っているが、その 1 つとして学齢前の外国人の子供たちが集まる「Play Group」の活動が週に 1 回行われている。父母による自発的な活動のため、特定の連絡先等はないが、学齢前の子供を持つ外国人に尋ねるとよい。

## 14-2 教育関係施設

### (1) 図書館など

子供のための書籍はマカッサル・インターナショナル・スクールの図書室を利用できる。日本語書籍については日本人補習校に付属する図書室 (在マカッサル日本国総領事館内) が利用可能である。

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

各家庭の事情により異なるが、運転手 (Sopir) 1 人、家政婦 (Pembantu) 2 人 (料理 1 人、洗濯 1 人 / 男性の家政夫はあまり一般的ではない) と、必要があれば門番 (Penjaga) などを雇用するのが一般的である。家政婦には役割分担があり、また、人間関係的な配慮もあり、仕事量にかかわらず 2 名を雇うのが一般的である。まず、料理を担当する家政婦を決め、その人が自分のもとで雑務を行う家政婦を選ばせるのがよいであろう。料理を行う家政婦は比較的経験を積んでいる人であり、雑務を行う家政婦は経験の少ない若い人間となることが多く、給料は料理を担当する家政婦が高いのが一般的である。

マカッサルにおいては、過去に日本人の家庭で働いたことがある家政婦を見つけることもできるため、ある程度日本料理を調理できる人を見つけるのはそれほど難しい。また、日本人の家庭では豚を料理することも多く、宗教上の慣習が比較的日本人にも受け入れやすいクリスチャンのトラジャ人を家政婦に雇う場合が多い。

## 15-2 運転手

### (1) 雇用

現地の人(家主、運転手仲間など)の紹介等で雇用することが多い。過去に日本人に雇用された経験があれば、前雇用者からの推薦状等を得ているかを確認する。日本人が雇用している運転手や家政婦等に聞けば、ある程度は過去の評判を知ることも可能である。雇用後は、運転免許証(SIM)やID(KTP)をコピーして保管しておくこと。

夜遅くまで勤務させる必要が考えられる場合、通勤方法に関しても確認を行う必要がある。試用期間の後、バイクを購入し、給料から天引きで返済させるなど、交通手段の確保は、勤務を円滑に行うために必要である。

下記の事項について話し合い、合意しておくことが賢明である。契約書を作成しておくことも勧める。

#### <勤務形態(参考例)>

- ・勤務時間: 通いで7:00~17:00のうち9時間拘束(7:00~16:00など)。
- ・休日・休暇: 日曜と国民の休日。有給休暇は年12日程(断食明け等に利用)。
- ・賃金: 基本給70万ルピア。
- ・諸手当: 残業手当(7千ルピア/時)、休日出勤手当(1万2千ルピア/時)。
- ・支給方法: 月払いが一般的だが、双方の都合により取り決めるとよい。
- ・食費: 支給しない。
- ・退職金: 雇用年数×1カ月分の月給。
- ・試用期間: 3カ月間(この間、給料は2割程度減)。
- ・昇給: 通例、雇用開始以降1年ごとに1割前後。
- ・ボーナス: イスラムの断食明けに月給の1カ月分程度を支給。クリスチャンの場合はクリスマス前に支給。

### (2) 日常管理

毎朝の点検、車両の清掃などを習慣づける。車体の傷などは必ず報告させること。勤務表に勤務時間、走行距離、ガソリン補填量などを記録させる。

### (3) 教育指導

インドネシア人はとかくスピードを出したがる傾向があるので、雇用当初に徹底して注意することが肝心である。

### (4) その他の留意点

該当情報なし。

## 15-3 家政婦/夫

### (1) 仕事の種類と人数

家庭の事情にもよるが、通常、家政婦を雇用している。料理担当者1人、洗濯その他の雑用担当者1人の計2人が多い組み合わせである。最初は日本料理ができない人でも、少し教えるとある程度の日本料理を作れるようになる。

## (2) 雇用

雇用方法は家主や知人からの紹介で雇用する人が多い。家政婦が2人というのは、こちらでは一般的であり、各人の精神衛生上必要である。

契約書は、読み書きが苦手な人が多いので、作成していないのが現状である。それでも、面接時にお互いが納得するまで、きちんと話し合うことが大切である。身分証明書(KTP)を提示させ、コピーをとっておくこと。現地では結核や肝炎に感染している人も多く、健康状態を知るため、健康診断を受けさせることも勧める。

勤務形態や条件は各家庭により異なるが、参考例は次のとおりである。

- ・勤務方法 : 住み込みが多いが通いも可能である。就業は通常 6:00 から夕食の片づけまでであるが、通いの場合は終業時間も設定する(20:00 など)。
- ・試用期間 : 2 カ月程度。
- ・休日・休暇 : 日曜日と断食明け休暇(あるいはクリスマス休暇)。通いの場合は日曜、祝日のほか有給休暇を年 12 日程度(断食明けなどに利用)。家政婦が 2 人の場合は交互に休みをとらせる、といったことも決めておく。
- ・支給方法 : 給与は 1 カ月に 1 回、月末、あるいは月初めに支払う。給与は日本食が作れるかどうかなどの能力や仕事量によるが、経験が長く、日本食が作れる人の場合は 80 万ルピア程度(食費込み)を支払う。
- ・食費 : 上述
- ・その他 : 寝具、鍋、コンロなど調理器具一式、食器類などは使用者側で用意。
- ・退職金 : 雇用年数×1 カ月分の月給。
- ・昇給 : 雇用後 1 年ごとに 1 割前後。
- ・ボーナス : イスラム教徒の場合は断食明け、キリスト教徒の場合はクリスマス前に給料の 1 カ月分を支給。
- ・禁止事項 : 無断外出。無断で人を家に入れること。

## (3) 日常管理

最初は、料理前に手を洗っているか、調理などの際に衛生的な考慮がなされているかなどに注意を払う必要がある。調理器具や器物が清潔に保たれ、丁寧に取り扱いわれているか、調理手順が雇用者の好みに合っているかなどを観察し、問題がある場合その都度注意する。

**15-4 庭師、ガードマン**

専門のガードマンを置いている家は少ない。また、必要に応じて庭師に来てもらうことはあるが、専属の庭師を雇用している家はあまりない。警備や簡単な庭の手入れは門番が兼任している。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1) 現地発行の日刊紙

現地発行の日刊紙を継続的に購入したい場合、家の近隣で新聞等を販売している人間に毎日配達を行うように手配するのが最も容易な方法である。支払いはだいたい月ごとに請求される場合が多い。ジャカルタで発行される英字新聞(「JakartaPost」)や週刊誌、月刊誌なども購読可能である。詳細は、近所の人、運転手、家政婦などに尋ねれば、適当な人間を探してもらえる。

#### (2) 日本の日刊紙

日本の新聞および雑誌の定期購読は OCS のホームページ(<http://www.ocs.co.jp>)から申し込みが可能である。

#### (3) 欧米紙／誌

マカッサルではあまり見かけないが、ときどき本屋の片隅に雑誌などが置いてある程度である。

#### (4) 日本の雑誌、書籍

日本の雑誌、書籍を購入できる書店はマカッサルにはないが、雑誌の定期購読を望むのであれば OCS のホームページ(<http://www.ocs.co.jp>)より、本であれば Amazon.com の日本サイト(<http://www.amazon.co.jp>)などから注文が可能であり、最も早い場合で注文から 4、5 日程度で入手できる。

### 16-2 ラジオ

#### (1) ラジオ放送局

国営ラジオ放送局(RRI)と民間放送局があるが、放送のほとんどはインドネシア語で行われている。マカッサル市内にはFM局が複数ある。

#### (2) NHK ワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ラジオ日本は短波による放送であり、全世界で聴取可能な放送である。地域によって周波数が異なり、時間によっても異なった周波数で放送を行っているため、地域と時間ごとの周波数を確認しておく必要がある。また、在マカッサル日本国総領事館で同ラジオ放送のプログラムを入手できる。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK 国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間 10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066

(NHK 視聴者コールセンター / 24 時間受付)

E-mail : [nhkworld@nhk.jp](mailto:nhkworld@nhk.jp)

<周波数表、番組表>

URL : [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

(周波数表、番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号 260

(日本語放送の周波数表・番組表 FAX サービス)

郵送 : 上記 NHK 国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

## 16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

地上波は国営 1 局、民間 10 局の放送局がある。放送はほぼ終日行っている。映像はカラー。言語はほぼインドネシア語で、日本のドラマ、アニメ等の放送もあるが、インドネシア語吹き替えとなっている。また、ハリウッド映画も連日のように放映されているが、こちらは言語は英語のまま、インドネシア語の字幕がつく。TVプログラムの詳細は地元紙の番組表で知ることができる。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビ

衛星放送には無料と有料のものがある。インドネシアの地上派放送局と同じ番組や CNN、MTV などの限られた放送を見るのであれば、専用のパラボラアンテナと受信機を購入すれば無料で視聴可能である。パラボラアンテナ、受信機は一般の電気店で購入できる。

NHK ワールドプレミアムや映画専門の番組を視聴するためには Indovision (所在地: Jl. Jend. A. Yani No.35、電話 : 0411-312863/316776) に申し込む必要がある。料金は視聴できる番組数によって異なるが、44 チャンネルの場合で月額約 28 万ルピア (NHK ワールドプレミアム込み) である。

(3) テレビ受信

インドネシアの放送は PAL 方式であり、日本の NTSC 方式とは異なっている。しかし、こちらで販売されているテレビ受像器はマルチとなっており、日本から持参したビデオデッキを接続し、日本で録画した番組を観るのには支障がない。ただし、日本のふつうのビデオデッキ (NTSC 方式のビデオデッキ) ではこちらの放送を録画することはできない (マルチ規格対応のビデオデッキであればこの限りではない)。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習



 Yellow Page

### 17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

在留邦人が通常利用するマカッサル市内のゴルフ場は Padang Golf Baddoka Lantamal IV である (詳細は Part3 イエローページを参照) が、他にマロス県に 1ヶ所 (マカッサルから陸路約 1 時間半)、ハーフのみプレー可能なところがマカッサル市内に 1ヶ所ある。日本人会が主催するコンペが頻繁に行われている。

## (2) テニス、フィットネス

テニスに関しては以下の施設が利用可能である。

 Yellow Page

・Lapangan Tennis Karebosi

フィットネスに関してはホテルや市内に複数あるが、日本人がよく利用するのは、以下のとおりである。ここには 50m プールと子供用プール、ビリヤード場もあり、家族で楽しめる。

 Yellow Page

・Panakukkang Mas Country Club

## (3) その他のスポーツ

特になし。

## 17-2 趣味

海に面した熱帯であるマカッサルならではの趣味として、ダイビングを楽しむ人々も多い。マカッサルよりスピードボートで 1~2 時間程度の沖合には、ダイビングに適した島々があり、簡単にダイビングを楽しむことができる。ダイビングのための手配は以下の場所で可能である。

・Makassar Diving Center(電話:0411-326056)

## 17-3 語学学習

## (1) 語学学習施設

マカッサル市内には英語等の一般的な語学学校、日本語を専門に教える語学学校も見られるが、インドネシア語や現地語(ブギス語、マカッサル語)を公式な授業科目として教えている学校はあまりない。

 Yellow Page

インドネシア語あるいは現地語を学ぶことを希望する場合、個人的に適当な人を探すことになるが、日本語学校のかおり文化園(詳細は Part3 イエローページを参照)では複数の人がいればグループで、単独であれば個人教授にも応じてくれる。

## (2) 家庭教師

家庭教師も上記のかおり文化園で対応可能と思われるが、要相談。

## 18. 観光



## 18-1 地方旅行の留意点

滞在期間中はできるだけ市外にも出かけ、風景や風俗習慣の違いなどを見て回るとよい。

交通手段にかかわらず、遠出する際は必ず飲み水と軽い食べ物を携行するとよい。日本のように容易に食堂やドライブインが見つかるとは限らず、車内や船内での購入もままならない。手洗いにも不自由するので、ティッシュペーパーやトイレペーパーのほか、タオル、おしぼり類も忘れずに携帯すること。自動車で移動する場合は水分を控えるのが賢明である。また、警察から提示を求められることがあるため、旅券のコピーを忘れずに携帯すること。

## 18-2 主要観光地・保養地

マカッサル近郊の観光地は次のとおりである。

### <バンティムルン>

大きな滝やプールがあり、現地の人々の憩いの場となっている。休日にはかなりにぎわう。滝の上の池には蝶が多く飛んでおり、蝶好きな人には魅力的なところである。隣街のマロスから山沿いに車で 20 分くらいである。

### <マリノ>

標高 1000m 以上の避暑地である。ここにある滝はバンティムルンよりさらに大型で、一見の価値がある。かなり涼しく、朝夕には長袖が必要。馬に乗ることもできる。このほか、マリノ近郊に「日東紅茶」の茶畑がある。マカッサルより車で約 2 時間。隣街のゴワより山側に進む。途中、日本の援助で完成したビリビリダムの横を通るので見学するとよい。手頃な宿泊施設も複数ある。

### <島々>

マカッサルの近くに小さな島が点在しており、珊瑚礁を楽しめる。手軽に楽しめるのはサマロナ島(チャーター船で 50 分ほど)で、現地の人々も日曜には大勢やってくる。ただし、施設は日よけ小屋と売店程度であるため、飲食物持参のこと。シュノーケルを借りることもできる。もう少し遠くまで行くならカポポサン島かランジュカン島がよい。日本食レストランの「SHOGUN」で船外機つきスピードボートをチャーターし、約 2 時間頑張ればカポポサン島のひとけのない美しいビーチが待っている。運がよければ、同島に向かう途中にイルカの大群を見ることができるといわれる。同島には簡易宿泊施設もあり、連休を利用してのんびり過ごすことも可能である。同宿泊施設の利用やダイビング、釣りを楽しみたい人は Makassar Diving Center(電話:0411-326056)に依頼するとよい。

### <ビラビーチ>

南スラウェシの南端にある白砂のビーチで知られている。ホテルはあるが、日本人が満足できそうなホテルは 1 軒のみで、そのホテルでも冷房があるのは 4 部屋のみである。あとは、こちらのロスメン(Losmen)と呼ばれる簡易宿泊所となる。しかし、海岸線の景観がすばらしく、この宿泊施設で我慢できる人なら泊まる価値は十分ある。ダイビングも楽しめるが、非常に流れが速いため注意が必要である(1997 年には日本人旅行者 5 名が死亡する事故が起きている)。

### <マカッサル湾>

誰でも楽しめるのがマカッサル湾の夕日である。Hotel Pantai Gapura や Kios Semarang でビールや食事を楽しみながら夕日を眺めることが在留邦人のお気に入りとなっている。

### <タナトラジャ>

ツーリストにとってはスラウェシといえば秘境タナトラジャと連想するほど有名である。最近では道路も舗装され、よいホテルもある。それでもマカッサルからは片道 8 時間くらいかかるので、少なくとも 3 日間の日程を組みたい。主な民芸品は木彫りの壁飾りや織物である。日本でも有名なトラジャ・コーヒーの産地もここである。

るが、日本人会等を通して事前に申し込めば、コーヒー農園を見学させてもらえる。

### 18-3 旅行代理店

日本人がよく利用する旅行会社は以下のとおり(詳細は Part3 イエローページを参照)。



- ・Anta Tour
- ・Suita Tours
- ・Linbunan

## 19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

赴任後すぐに必要なものは、できる限り携行荷物として持ち込むほうがよい。マカッサルまで荷物を送りたい場合、よほど大きな荷物を持ち込むのであれば、郵便等を利用したほうがよい。

たとえば、荷物を日本からマカッサルまで送る場合、日本で知られている日通でも、マカッサルには特定の地元業者を持っておらず、必要があれば適当地元業者を使っているとのことである。

#### (2) 輸入手続き

アナカン(別送荷物)、海送荷物の場合は滞在許可取得との関係もあり、引き取りまでに1、2カ月を見込む必要がある。引き取りの際は、インボイス、パッキングリストのほか、海送の場合はB/L(船荷証券)、空送の場合はAir Way Billを持って手続きを行う。荷物がインドネシアに到着してから引き取りまでは、海送のほうが空送よりも早い場合がある。

マカッサルでアナカンの手続きが可能であるのかは不明。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

マカッサル・ハサヌディン空港。

### 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

インドネシアでは完成車の輸入は基本的に禁止されている。一般的に、在庫があるものを選べば1週間程度で車両登録が終わり、乗車可能である。新車であれば、手続きは購入したディーラーが行ってくれる。

#### (2) 輸入手続き

手続きは購入したディーラーが行ってくれる。

#### (3) 現地での購入

新車購入を考えるのであれば、日系自動車のディーラーとしてトヨタ、いすゞ、ダイハツ、三菱、ホンダ、ニッサンなどがある。いずれも現地生産車が主流であり、

車種も日本とは異なっているものが多いため、実際にディーラーで見て、見積もりをとることを勧める。中古車も、上記したディーラーで販売していると聞いているが、詳細は不明。そのほか、中古車販売会社を利用したり、知人を介しての購入などが考えられる。

#### (4) 自動車登録

自動車の登録は SAMSAT(下記)で行う。新車を購入した場合、販売店のディーラーが手続きを行ってくれる。中古車の場合、個人による手続きが必要なので、ブローカーに依頼するとよい。

・SAMSAT(Sistem Administrasi Satu Atap/南スラウェシ州 One Stop サービス事務所)

所在地 : Jl. A. P. Pettarani No. 1, Makassar

電話 : 0411-850600

#### (5) 免許証取得

写真とパスポートの写し、現在の住所を証明するもの(職場からの手紙で可)を用意し、35 万ルピア程度を支払えば、実技試験等を受けることなく有効期間 1 年の自動車運転免許を取得できる。免許証を取得したい場合、自分の運転手、職場の同僚等に相談すれば、手続きの方法を教えてもらえる。その紹介者と警察に行き、手続きを手伝ってもらったほうがよいであろう。正式に試験を受けて取得する方法もあるが、インドネシア人にとってもあまり一般的な方法ではないようである。

#### (6) 保険、税金

マカッサル市内には多数の保険会社があり、外資と提携していると思われる会社もあるが、実際のところ、会社自体の安定性も含めて、どの保険会社が信頼できるのかあまり情報はない。

事故に遭った場合、保険会社に連絡をとり、車体の修理、同乗者や被害者への保険を含め、保険会社の担当者と相談しながら進める。

また、保険に入る場合、数社から見積もりをとり、検討を行うことが賢明であろう。保険は、車自体の事故に関する保険(洪水、暴動などでの破損を含む)、運転手、同乗者、被害者に対する保険で構成され、それぞれの保険額に基づいて計算される。参考例として、報告者の場合は以下のようにになっている。なお、保険会社は Asuransi Sinarmas(詳細は Part3 イエローページを参照)である。



例 : 積算時期 2007 年 8 月 保険延長

- ・自動車本体保険(見積もり価格に基づく) : 1 億 2 千 5 百万ルピアまで
- ・運転手、同乗者保険 : 1000 万ルピアまで
- ・第三者への保険 : 500 万ルピアまで

以上の条件で、保険料約 4 百万ルピア(保険期間 1 年)

車両登録税は年 1 回。金額は車両の種類、型式等で決められているので、SAMSAT(上記「(4) 自動車登録」を参照)に問い合わせる。車両登録税を納めることで STNK(Surat Tanda Nomor Kendaraan)が更新される。常に STNK は

車に携帯することが義務づけられている。  
ふつうの自家用車の場合、車検等は必要ない。

## 20. 地方都市



「18-2 主要観光地・保養地」や『国別生活情報(インドネシア／ジャカルタ)』  
ほか 4 篇を参照。

## Part 3 イエローページ

※特に記載がない限り、マカッサルの情報を中心に掲載しています。

## 1. JICA事務所

所在地	Plaza BII Tower II 27th Floor, Jl. M.H. Thamrin No. 51 Jakarta 10350, Indonesia
TEL/FAX	TEL: +62-21-3907533 FAX: +62-21-3907536
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.jica.go.jp/indonesia/index.html">http://www.jica.go.jp/indonesia/index.html</a> E-mail: <a href="mailto:jicain@jica.go.jp">jicain@jica.go.jp</a>

## 2. JICAマカッサル・フィールド・オフィス(MFO)

所在地	Hotel Sahid Jaya Makassar 2nd Floor, Jl. Dr. Sam Ratulangi No.33, Makassar 90132, Sulawesi Selatan, Indonesia
TEL/FAX	TEL: +62-411-876357 FAX: +62-411-876359

## 3. 日本大使館

所在地	Jl. M.H. Thamrin No.24, Jakarta 10350, Indonesia
TEL/FAX	TEL: 021-31924308 FAX: 021-31925460
URL	URL: <a href="http://www.id.emb-japan.go.jp/top-ip.html">http://www.id.emb-japan.go.jp/top-ip.html</a>

## 4. 在マカッサル日本国総領事館

所在地	Jl. Jenderal Sudirman No.31, Makassar, Indonesia(P.O. Box 222)
TEL/FAX	TEL: 0411-871030/872323

## 5. 緊急連絡先電話番号

在マカッサル日本 国総領事館	TEL: 0411-871030/872323
警察	TEL: 110
消防	TEL: 113
救急	TEL: 119

## 6. ホテル

## ■Hotel Imperial Arvaduta

Jl. Somba Opu No.297
TEL: 0411-870555 FAX: 0411-870222
料金: Superior City View 120万ルピア / Deluxe 169万4000ルピア, VISA, American Express, Master Card

## ■Hotel Sahid Jaya Makassar

Jl. Dr. Sam Ratulangi No.33
TEL: 0411-875757 FAX: 0411-875858
料金: Deluxe 100万ルピア / Corner Suite 250万ルピア VISA, Master Card

## ■Hotel Clarion

Jl. AP.Petta Rani
TEL: 0411-833888 FAX: 0411-833888
料金: Superior 90万ルピア / Deluxe 110万ルピア VISA, Master Card, Debit BCA

## ■Hotel Santika

Jl. Sultan Hasanuddin No.40, Makassar
TEL: 0411-332233 FAX: 0411-332277
料金: Deluxe 70万ルピア / Deluxe City View 75万ルピア / Deluxe Harbour 80万ルピア VISA, American Express, Master Card, Debit BCA

## ■Hotel Quality

Jl. Somba Opu No.235
TEL: 0411-333111 FAX: 0411-333222
URL: <a href="http://www.qualityhotelmakassar.com">http://www.qualityhotelmakassar.com</a> 料金: Deluxe City View 95万ルピア / Deluxe Ocean View 100万ルピア VISA, Master Card, American Express

## ■Hotel Banua

Jl. Haii Bau No.7
TEL: 0411-855555 FAX: 0411-859955
料金: Delux Standard City View 65万ルピア / Delux Standard Ocean View 75万ルピア VISA, Master Card

## 7. レストラン

## &lt;日本料理&gt;

## ■New Shogun

Jl. Penderhaur No.2

TEL:0411-331334/324102 FAX:0411-319842

日本人向けの日本食屋だが、インドネシア人や外国人の利用も多い。料理の種類も多く、日本の居酒屋に近い。鉄板焼きもやっており、こちらは主にインドネシア人や外国人向け。3階に和室が数部屋あり、宴会などが可能。焼肉としゃぶしゃぶがお勧め。

## ■Shima-Ya Mall GTC Makassar-Lake Side Restaurant

Jl. Metro Taniung Bunga

TEL:0411-838920/830921

2003年末に営業を始めたGowa Trade Center(GTC) ショッピング・モールの一角にある。鉄板焼きとひとりの日本料理が揃っており、インドネシア人(中国系)の客が多い。店の説明にもあるが、日本食ファミリーレストランといった感じである。

## ■BUGIS Shokudo

Jl.Pattimura No.19

TEL:0411-314038

2007年1月にオープンした食堂。オーナーはかつて青年海外協力隊員として、当州パルー県で活動経験のある女性。コロッケ、餃子、鶏の唐揚げ、手羽先揚げ、エビチリ、麻婆豆腐、お好み焼き等々が手頃な値段で食べられる。マカッサルでは珍しく、ギンギンに冷えたビールを用意してくれているのが嬉しい。営業時間は午前11時から午後10時。木曜は定休日。

## &lt;シーフード料理&gt;

## ■Rumah Makan Nelavan

Jl. Ali Malaka No25

TEL:0411-310523/330454

マカッサル市内でよく見られるシーフードの店。店の前で好きな魚を選び、料理方法を指定する。料理法は基本的に焼くか油で揚げるかである。この店はHotel Qualityからも近く、カラオケ等もないため、人と話をしながら食事をする事が可能である。特大エビ(Udang Kipas)がお勧め。冷房あり。ドル/月

## ■Istana Laut

Jl. Datumuseng No.1

TEL:0411-852083/850611

基本的にはシーフードの店だが、スープなどシーフード以外の料理も注文できる。1階は夜になるとバンドが入るため、会話をしながらの食事には向いていない。2階に冷房付きの個室が2室(1部屋20人ぐらい)あるため、会話等しながらの会食を望む場合、予約をしたほうがよいであろう。Hotel Imperial Aryadutaから近い。一部冷房あり。

## &lt;韓国料理&gt;

## ■Ko Ryu Jong

Hotel Sahid Jaya Makassar 内、Jl. Dr. Sam Ratulangi No.33

料理屋には、韓国料理および日本料理の表示がある。冷房あり。

## &lt;タイ料理&gt;

## ■Makassar Suki

Makassar Theater内、Jl. Bali No

TEL:0411-313077

料理はタイで広まった鍋料理をまねたものであり、スープを使った水炊きが主体であるが、タイ料理、中国料理も注文することができる。日曜日の昼は点心もやっている。冷房があり、店内はきれいである。

## &lt;中国料理&gt;

## ■Surya

Jl. Nusakambang No.16, Makassar

TEL:0411-317066/319630

マカッサルでよく知られた中国料理店である。Supre Crabgが店の名物料理で、とにかく大きなカニを食べたい向きにはお勧め。2階は夜になるとバンドが入り、歌手が歌ったり、客に歌わせたりするサービスがあるため、会話をしながらの会食にはあまり向かない。

冷房あり。Panakukkang Mas地区のショッピング・モールMal Panakukkang Masの4階に支店がある。冷房あり。

## ■Kios Semarang

Jl. Penderhaur No.20

料理店というより、ビアガーデンとして利用する客が多い。マカッサル湾に面しており、2階、3階より湾を眺めながらビールを楽しむことができる。白人系の客も多い。料理は中国系インドネシア料理であり、料理の種類は多くない。冷房なし。

---

**■Golden Roof**


---

 Jl.Muchtar Lutfi No.38,Makassar (Smile Plaza 2F)

---

 TEL:0411-311547 FAX:0411-318056

---

 マカッサルでは珍しく、都会的な内装の中華料理店。北京ダックがお勧め。上記<タイ料理>で紹介した Makassar Sukiと同じく、鍋料理(スキ)も楽しむことができる。種類は少ないものの、日本酒や焼酎も飲むことができる。
 

---

**8.金融機関** \* 下記銀行の所在地はマカッサル市中心部に位置するものを挙げた。

**■Bank Central Asia(BCA)**


---

 Jl. A. Yani No. 31. Makassar

---

 TEL:0411-333414 FAX:0411-332387
 

---

**■Bank International Indonesia(BII)**


---

 Gedung BII, Jl. Kajaolalido No.6

---

 TEL:0411-316243 FAX:0411-325057
 

---

**9.レンタカー**
**■Santigi Asri**


---

 Komp. Nusa Tamalenrea Indah Blok M No.2. Perintis Kemerdekaan Km.12

---

 TEL:0411-588986 FAX:0411-588986
 

---

**■Merista Travel**


---

 Komp.Taman Sudiang Indah Blok L2 No.31, Perintis Kemerdekaan Km.17

---

 TEL/FAX:0411-555720 E-mail:seri\_mks@yahoo.com
 

---

**10.自動車修理工場**
**■PT. Hadji Kalla(トヨタ系)**


---

 Jl. Urip Sumohario

---

 TEL:0411-448844 FAX:0411-44903
 

---

**■PT. Bosowa Berlian Motor(三菱系)**


---

 Jl. Urip Sumohario No. 266

---

 TEL:0411-444444 FAX:0411-447744

---

 E-mail: Bosowa@indosat.net.id
 

---

**■PT. Astora International Tbk-Daihatsu (ダイハツ系)**


---

 Jl. Urip Sumohario No. 64

---

 TEL:0411-449911 FAX:0411-449359
 

---

**■PT. Astora International Tbk-Isuzu(いすゞ系)**


---

 Jl. Urip Sumohario Km4

---

 TEL:0411-431001 FAX:0411-431005
 

---

**11.郵便局**
**■Kantor Pos Pusat(中央郵便局)**


---

 Jl. Slamet Rivadi No.10

---

 TEL:0411-323180/314616 FAX:0411-324192
 

---

**■Kantor Pos Balai kota(バライコタ支店)**


---

 Jl. Balaikota No.5

---

 TEL:0411-316242 FAX:0411-324192
 

---

**12.国際宅配サービス**
**■DHL**


---

 Jl. Bulevard No.8,Komp.Panakuk kang Mas

---

 TEL:0411-437888 FAX:0411-422838
 

---

**■FedEx**


---

 Jl. Airport No.16

---

 TEL:481-32411
 

---

**13.運送会社**
**■Mattapa Tour & Travel Service PT**


---

 Jl. Wolter Monginsidi 61-63

---

 TEL:0411-871390

---

 詳細は直接問い合わせのこと。
 

---

## 14. 教育機関

## &lt;日本人補習校&gt;

## ■ウジュンパンダン日本語補習授業校

Jl. Jenderal Sudirman No.31 (在マカッサル日本国総領事館内)

TEL: 0411-871030

小1から中3まで。小1入学前に約3カ月の入学準備教育もある。

## &lt;インターナショナルスクール&gt;

## ■Makassar International School(マカッサル・インターナショナルスクール)

Jl. Kasuari No.15

TEL: 0411-872591 FAX: 0411-873035

E-mail: misschool@indosat.net.id

授業時間: 8:30~15:00(2歳児から4歳児は08:30~11:00、4歳児から5歳児は08:30~13:00)

休日: 日曜およびインドネシアの祝日

学期: 4学期制で、8月~10月、10月~12月、1月~4月、4月~6月

入学金: 250米ドル

授業料: 年額

●Toddler(2-3歳):US\$3,400、Pre School(3-4歳):US\$4,000●Kindergarden(4-5歳):US\$6,000

●Preparation(5-6歳):US\$9,000●Primary School(1-2年生/6-8歳):US\$9,400●Primary School(3-6年生

/8-11歳):US\$10,000●Junior High School:US\$10,000●High School:US\$10,000

(上記授業料にはテキスト代が含まれている。)

## &lt;幼稚園&gt;

## ■Bambini

Jl. Mesjid Raya No.68

TEL: 0411-450616

登録料: 10万ルピア

入学金: 300万ルピア

授業料: 3カ月前後を一単位とする学期払いで、通園日、年齢によって異なるが、160万~220万ルピアとなっている。クラスは、1歳半~2歳半、2歳半~4歳、4歳~5歳、5歳~6歳に分けられている。

## 15. スポーツ施設

## &lt;ゴルフ場&gt;

## ■Padang Golf Baddoka Lantamal IV

Jl. Batara Bira

TEL: 0411-512355 FAX: 0411-511633

料金: 9ホール会員6万5000ルピア、非会員12万5000~22万ルピア(曜日によって異なる)、18ホール会員8万5000ルピア、非会員17万5000~25万ルピア(曜日によって異なる)

会員入会料: 1人332万2000ルピア、夫婦458万7000ルピア

## &lt;テニス&gt;

## ■Lapangan Tennis Karebosi

Jl. Kaijojalido

TEL: 0411-328512、0815-2501142

使用可能時間・料金: (6:00~9:00)1万ルピア/1時間、(15:00~18:00)1万5000ルピア/1時間、(20:00~22:00)2万ルピア/1時間(料金はテニスコート1面当たりの料金。他の料金設定もあるので詳細は要確認)

## &lt;フィットネス&gt;

## ■Panakkukang Mas Country Club

Jl. Boulevard Panakkukang Mas

TEL: 0411-454820~2

料金: 1カ月会員55万ルピア、半年会員190万ルピア、年会員290万ルピア。

競泳用プール、子供用プールもあり、土日は1人4万ルピア(平日3万ルピア)で利用可能(子供料金なし)。フィットネスは1カ月以上の会員にならないと使用不可。

## ■Hotel Imperial Aryaduta

Jl. Somba Opu No.297

TEL: 0411-870555

料金: 大人6万ルピア/回、子供3万ルピア/回

1カ月会員30万ルピア、半年会員80万ルピア、年会員115万ルピア。フィットネスおよびプールの使用可。

## &lt;ダイビング&gt;

## ■Makassar Diving Center

Jl. Ujung Pandang No.3(POPSA)

TEL:0411-326056 FAX:0411-319842

通常カポパサン島の簡易宿泊施設に宿泊して楽しむが、2回のダイビングと宿泊費、食費、船代込みで一人あたり200万ルピア／泊となる。ただし、最少人数が4人のため、人数が4人以下の場合でも4人分の料金(800万ルピア／泊)を支払う必要がある。

## 16. 語学学習施設

## ■かおり文化園

Jl.Gunung Merapi Selatan No.3A.Makassar

TEL:0411-876867

インドネシア語のプライベートレッスンの場合、最初の登録料5万ルピア、授業料は1レッスン(1.5時間)8万5000ルピアとなっている(2007年8月現在)。また、通学してインドネシア語を学ぶ場合は2.5ヶ月コース(20レッスン)があるが、授業料は語学レベルによって異なり、初級レベルが35万ルピア、中級レベルが40万ルピア、上級レベルが50万ルピアとなっている。詳細は要確認。

## 17. 旅行会社

## ■Anta Tour

Jl. Dr. Wahidin Sudiro Husodo No.34A

TEL:0411-31864 FAX:0411-313910

E-mail: antaupq@antatour.com

営業時間:(月～金)8:00～21:00、土8:00～19:00、日9:00～13:00

## ■Dewi Wisata Tour &amp; Travel

Jl.Sultan Hasanuddin No.15

TEL:0411-315858 FAX:0411-316878

営業時間:(月～金)8:00～21:00、土8:00～19:00、日9:00～13:00

## ■Linbunan

Jl. Gunung Bawakaraeng. 40-42

TEL:0411-315010 FAX:0411-314344

E-mail: limbunan@indosat.net.id

営業時間:(月～土)9:00～21:00

## 18. 保険会社

## ■Asuransi Sinarmas

Jl. Gunung Bawakaraeng No.67-69

TEL:0411-316752 FAX:0411-326556